ONKYO®

X-B8

FR-B8（CD/MD チューナーアンプ）
D-B8（スピーカーシステム）

X-B7

FR-B7（CD/MD チューナーアンプ）
D-B7（スピーカーシステム）

取扱説明書

MDLP　Hi-MD AUDIO

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

主な特長/付属品

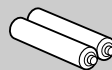
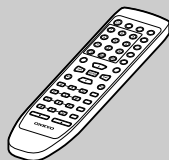
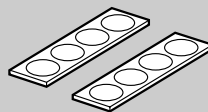
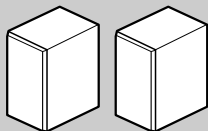
「X-B8」はFR-B8とD-B8で構成されています。
「X-B7」はFR-B7とD-B7で構成されています。

■ Hi-MD対応
■ 高速演算ATRAC搭載
■ 多彩な録音モード、PCM、Hi-LP、Hi-SP、LP2、LP4、Mono(モノ)にも対応
■ たくさん入った曲を整理するMDグループ機能
■ MDネーム入力をさらに快適にするネームコピー機能
■ CDからMDへの録音レベルを自動設定するDLA Link(リンク)（Digital(デジタル) Rec(レック) Level(レベル) Adjustment(アジャストメント)）機能
■ CD→MD倍速ダビング機能
■ 音楽用CD-R、CD-RW再生にも対応※1
■ FMオートプリセット可能。30局メモリー搭載チューナー
■ デジタル録音時のレベル調整ができるデジタル録音ボリューム搭載
■ 次世代メディアの実力を引き出す超ワイドレンジアンプテクノロジーWRAT（Wide(ワイド) Range(レンジ) Amplifier(アンプリファイヤー) Technology(テクノロジー)）
■ 重低音の調整ができるS.BASS(スーパーバス)機能、低音や高音を調整できるTONE(トーン)機能
■ 充実した外部入出力端子（FR-B8：CD-R、TAPE、LINE/FR-B7：VIDEO、TAPE、LINE）
■ FR-B8には光デジタル端子装備（入力×1、出力×1）
■ FR-B8には衛星放送などからのリニアPCMデジタル音声信号も録音できるサンプリングレートコンバーター搭載

※1 PCMフォーマットで録音された音楽用CD-R/RWで、ファイナライズ済のディスク。ただし、傷、汚れ、録音状態によっては、再生できないことがあります。

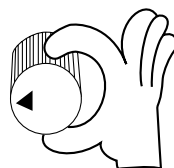
付属品

本機には以下の付属品が同梱されています。お確かめください。（　）内の数字は数量をあらわしています。

●FM室内アンテナ（1）　●AM室内アンテナ（1）　●リモコンーRC-603（1）　●単3乾電池（2）

●スピーカー(D-B8またはD-B7)(2)　●スピーカーコード 1.8m（2）　●スピーカー用コルクスペーサー(8)

●取扱説明書（本書1）　●保証書（1）　●オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内（1）

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法は同じです。

音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

目次

基 本 編

はじめに

接続する

再生する

ラジオを聞く

録音する

MDグループ機能

時計とタイマー

その他

応 用 編

外部機器を接続する

録音の設定

編集/消去をする

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容(左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

分解禁止

● 本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
● 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

● 本機を使用できるのは日本国内のみです。
● 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧や船舶などの直流(DC)電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

● 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。
次の点に気をつけてご使用ください。
• 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
• 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
• テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、ふとんの上に置いて使用しないでください。
• 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面、横から2cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。

■ 水のかかるところに置かない

水場での
使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

● スピーカー内部、本機の通風孔、ミニディスクの挿入口やCDトレイなどから金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセント
から抜いてください

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触
禁止

● 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますのでご注意ください。
● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセント
から抜いてください

● 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 乾電池を充電しない

● 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより、火災、けがの原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

- 強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所、厚手のじゅうたんの上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に10kg以上の重い物や外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

- 移動させる場合は、サランネットやスピーカーユニットに手をかけないでください。故障やけがの原因となることがあります。
- 移動させる場合は、本機の電源を切り、スピーカーコードをはずしてから行ってください。落下や転倒など思わぬ事故の原因となることがあります。

■ スピーカーコードは安全な場所へ

- スピーカーコードの配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。スピーカースタンドを使用した場合や高い所に置いた場合、特にご注意ください。

■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

- 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
- 音量を上げすぎないように注意してください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。
- お子さまがミニディスク挿入口やCDトレイに手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 電池について

- 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■ スピーカーコードについて

- スピーカーコードを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

- 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。

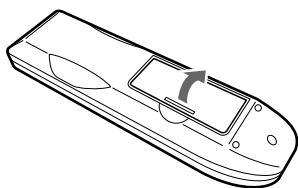
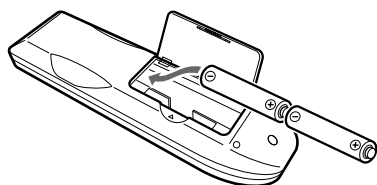
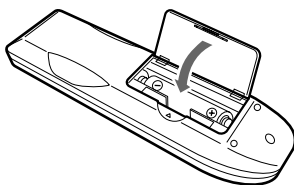
  本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。
-
  電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
- 屋外アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となるとがあります。

- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
  化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

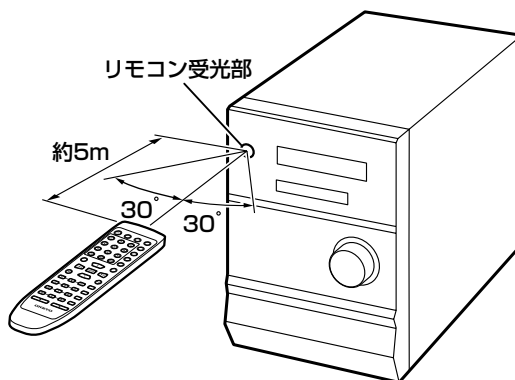
リモコンを準備する

乾電池を入れる

1. カバーを矢印の方向に持ち上げる

2. 中の極性表示にしたがって付属の乾電池2個をプラス⊕とマイナス⊖を間違えないように入れる

3. カバーを戻す

ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 消耗した電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 使用頻度にもよりますが、付属の電池の寿命は約6ヵ月です。電池の交換時には、単3形をご使用ください。

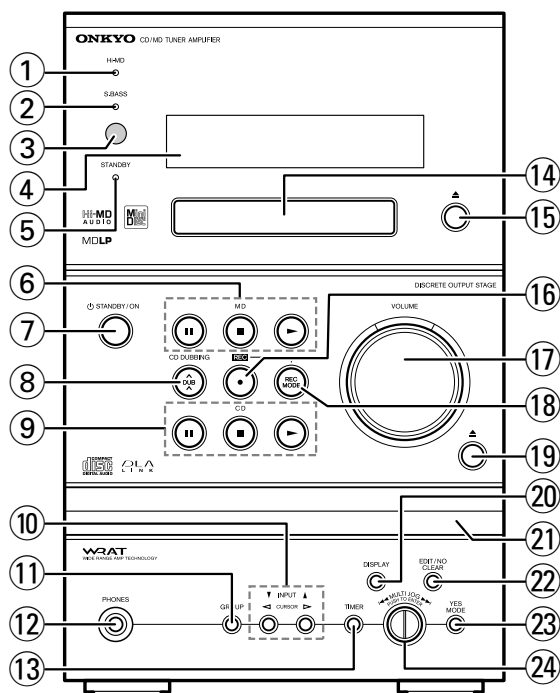
リモコンの使いかた

リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

各部の名前と主な働き

前面パネル

〔　〕内の数字は、主な参照ページを示しています。

① **Hi-MDインジケーター**〔24〕
Hi-MDモードのディスクが挿入されたとき点灯します。

② **S.BASSインジケーター**〔34〕
スーパーバス機能を使用しているとき点灯します。

③ **リモコン受光部**〔8〕
リモコンからの信号を受信します。

④ **表示部**
次ページをご覧ください。

⑤ **STANDBYインジケーター**〔21〕
スタンバイ状態のとき点灯します。

⑥ **MD操作ボタン**〔24〕
❚❚：再生や録音を一時停止します。
■：再生や録音を停止します。
▶：再生や録音（録音待機状態から）を始めます。

⑦ **STANDBY/ONボタン**〔21〕
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

⑧ **CD DUBBINGボタン**〔38～40〕
CDダビングを開始します。2回押すとCD倍速ダビングを開始します。

⑨ **CD操作ボタン**〔22〕
❚❚：再生を一時停止します。
■：再生を停止します。
▶：再生を始めます。

⑩ **INPUT▲/▼、CURSOR◁/▷ボタン**
〔21、32、41、43、47、52～59、65、73〕
聞くソースを選びます。
文字入力時、文字の挿入、訂正、消去に使います。

⑪ **GROUPボタン**〔48～54〕
グループを選択するときに押します。

⑫ **PHONES端子**〔21〕
ヘッドホンのミニプラグを接続します。

⑬ **TIMERボタン**〔66、68、69、72〕
現在時刻やタイマーの設定を行います。

⑭ **MD挿入部**〔24〕
MDを挿入します。

⑮ **MD▲ボタン**〔24〕
MDを取り出します。

⑯ **●RECボタン**〔41～43、46、47〕
MDを録音待機状態にします。

⑰ **VOLUMEつまみ**〔21〕
音量を調節します。

⑱ **REC MODEボタン**〔44〕
録音モードを設定します。

⑲ **CD▲ボタン**〔22〕
CDトレイを開閉します。

⑳ **DISPLAYボタン**〔23、25、33、38、39、42、47、62、63、66〕
表示部の情報を切り換えます。
文字入力時、文字の種類を選べます。

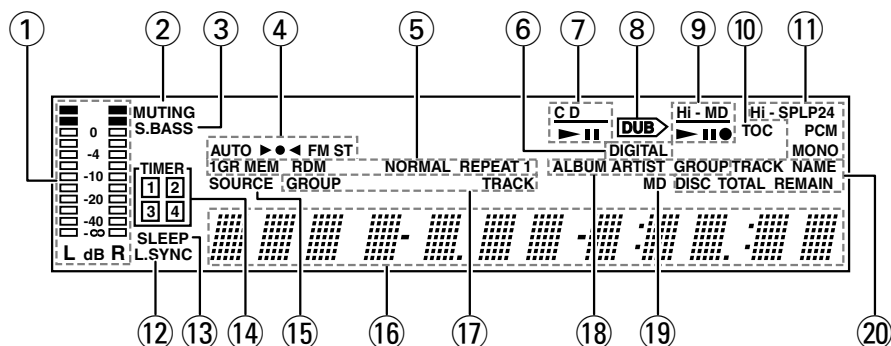
㉑ **CDトレイ**〔22〕
CDをセットします。

㉒ **EDIT/NO/CLEARボタン**〔26、36、44～47、50～63、65、66、71～73〕
設定や編集操作の内容を選びます。
設定中は表示された内容を取り消します。

㉓ **YES/MODEボタン**〔26～28、33、49、63〕
録音、再生、設定などで選択した項目を決定します。
メモリー再生やランダム再生を設定します。

㉔ **MULTI JOGダイヤル**〔22、24、26、32、36、41、44～63、65、66、68～73〕
登録した放送局やCDまたはMDの再生する曲を選びます。
編集時、項目の選択をします。押すと各設定を確定します。

表示部

〔　〕内の数字は、主な参照ページを示しています。

① **レベル表示**
音声レベルを表示します。

② **MUTING表示**〔34〕
ミューティングが働いているときに点滅します。

③ **S.BASS表示**〔34〕
スーパーバス設定時に点灯します。

④ **FM/AM受信情報**〔29～33〕
FM/AM受信時の情報を知らせます。

⑤ **再生モード表示**〔26～28、49〕

1 GR	：1GRグループ再生時に点灯します。
MEM	：メモリー再生が設定されているときに点灯します。
RDM	：ランダム再生時に点灯します。
NORMAL	：通常再生時に点灯します。
REPEAT	：全曲リピート再生時に点灯します。
REPEAT 1	：1曲リピート再生時に点灯します。

⑥ **DIGITAL表示**〔46〕
MDに録音される信号の種類を表示します。

⑦ **CD 再生表示**〔22〕
CDの再生状態を表示します。

⑧ **DUB表示**〔38〕
CDダビング時に点灯します。

⑨ **MD/Hi-MD再生、録音表示**〔24〕
MD/Hi-MD再生、録音状態を表示します。
- Hi-MDモードのMDが挿入されたきは、Hi-MD表示が点灯します。

⑩ **TOC表示**〔35〕
録音や編集など、MDに情報を書き込むときに、点灯や点滅します。

⑪ **録音モード表示**〔44〕
再生や録音するモードが点灯します。

⑫ **L.SYNC表示**〔47〕
レベルシンクが働いているときに点灯します。

⑬ **SLEEP表示**〔68〕
スリープタイマーが働いているときに点灯します。

⑭ **TIMER表示**〔67〕
タイマーのセット状態を表示します。
□：タイマー録音設定時に点灯します。
数字：タイマー1～4設定時に点灯します。

⑮ **SOURCE表示**
再生されているソースが表示されているときに点灯します。

⑯ **多目的表示部**
再生時間や名前などを表示します。

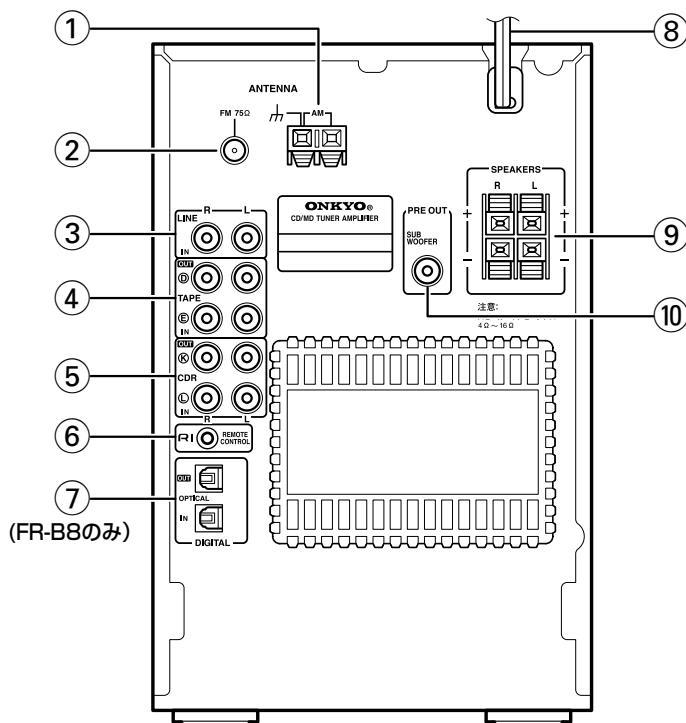
⑰ **GROUP/TRACK表示**

GROUP表示	：グループ数が表示されているときに点灯します。
TRACK表示	：トラック数が表示されているときに点灯します。

⑱ **ALBUM/ARTIST/GROUP表示**
アルバム名、アーティスト名、グループ名が表示されているときに点灯します。

⑲ **MD表示**
録音中、表示をMDにすると点灯します。

⑳ **CD/MD情報**
多目的表示部に表示されている項目が点灯します。

後面パネル（FR-B8/FR-B7）*イラストはFR-B8で説明しています。*

① ANTENNA（アンテナ）（AM）端子
付属のAM室内アンテナを接続する端子です。

② ANTENNA（アンテナ）（FM75Ω）端子
付属のFM室内アンテナまたは、FM屋外アンテナを接続する端子です。

③ LINE（ライン）端子
テレビやDVD、フォノイコライザー内蔵のレコードプレーヤーなどの外部機器の音声出力を接続する端子です。

④ TAPE（テープ）端子
テープデッキを接続する端子です。

⑤ CDR端子（FR-B8）
VIDEO（ビデオ）端子（FR-B7）
CDレコーダーや録音機器を接続する端子です。

⑥ RI REMOTE（リモート） CONTROL（コントロール）端子
RI端子付きのオンキヨー機器と接続し、連動させるための端子です。
RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

⑦ DIGITAL（デジタル） OUT（アウト）/IN（イン）端子（FR-B8のみ）
光デジタル音声の入出力端子です。
デジタル入力端子付きのCDレコーダーやデジタル出力端子付きのゲーム機、BSチューナーなどと接続します。PCM信号に対応しています。
接続には、市販のオーディオ用光デジタルケーブルを使用します。

⑧ 電源コード

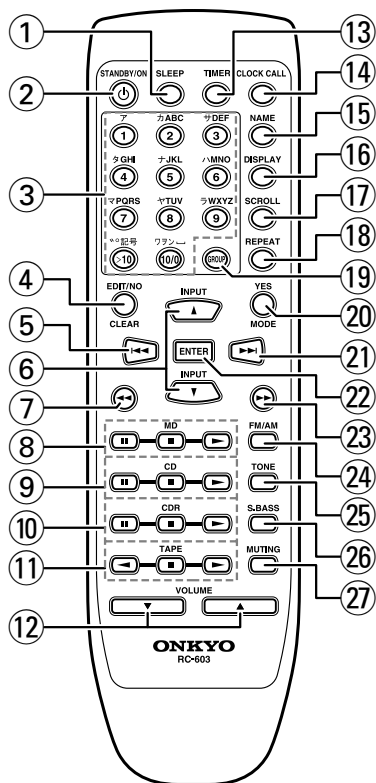
⑨ SPEAKERS（スピーカー）端子
付属のスピーカーを接続する端子です。

⑩ PRE（プリ） OUT（アウト）端子
アンプ内蔵のサブウーファーを接続する端子です。

接続については、15～20ページをご覧ください。

各部の名前と主な働き

リモコン（RC-603）

〔　〕内の数字は、主な参照ページを示しています。

① SLEEP（スリープ）ボタン〔68〕
スリープタイマーの設定に使用します。

② STANDBY（スタンバイ）/ON（オン）ボタン〔21〕
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

③ 文字、記号、アルファベット、数字ボタン〔23、25、26、33、48、64、66、71〕
ディスク名や曲名など文字入力時に使用します。また、選曲したり、メモリー再生時に曲順を指定するときにも使用します。

④ EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタン〔26、29〜31、36、44〜47、50〜63、65、66、71〜73〕
設定や編集操作の内容を選びます。設定中は表示された内容を取り消します。

⑤ ◀◀ボタン〔22〜26、29、31、33、34、36、44〜61、63〜66、68、71〜73〕
CD、MDのときは前の曲を選びます。ラジオを聞いているときは、登録した放送局を選びます。設定時は項目を選びます。別売りのカセットテープデッキの場合は、巻戻しをします。

⑥ INPUT（インプット）▲/▼ボタン〔21、47、73〕
押すごとに入力が切り換わります。

⑦ ◀◀ボタン〔22〜26、29、32、33、65〕
再生中の曲を早戻しします。文字入力時、カーソル移動をします。また、周波数の選択にも使用します。

⑧ MD操作ボタン〔24〕
Ⅱ：再生、録音を一時停止します。
■：再生、録音を停止します。
▶：再生、録音（録音待機状態から）を始めます。

⑨ CD操作ボタン〔22〕
Ⅱ：再生を一時停止します。
■：再生を停止します。
▶：再生を始めます。

⑩ 別売のオンキヨー製CDR操作ボタン
Ⅱ：再生、録音を一時停止します。
■：再生、録音を停止します。
▶：再生、録音（録音待機状態から）を始めます。

⑪ 別売のオンキヨー製テープデッキ操作ボタン
◀：B（裏）面を再生します。
■：再生、録音や早送り、巻戻しを停止します。
▶：A（表）面を再生します。

⑫ VOLUME（ボリューム）▲/▼ボタン〔21〕
音量を調節します。

タイマー
⑬ TIMERボタン〔66、69、72〕
現在時刻やタイマーの設定を行います。

クロック　コール
⑭ CLOCK CALLボタン〔66〕
時刻を表示させるときに押します。

ネーム
⑮ NAMEボタン〔64〕
文字を入力するときに使用します。

ディスプレイ
⑯ DISPLAYボタン〔23、25、33、38、39、42、47、62〜64、66〕
押すたびに表示部の情報が切り換わります。

スクロール
⑰ SCROLLボタン〔25、64〕
表示部に表示された文字を移動表示します。文字入力時、文字の種類を選べます。

リピート
⑱ REPEATボタン〔28〕
MDやCDをくり返し再生します。

グループ
⑲ GROUPボタン〔48、49、51〜54〕
グループを選択するときに押します。

イエス　モード
⑳ YES/MODEボタン〔26〜28、30、33、46、49、63〕
録音、再生、設定などで、選択した項目を決定します。
メモリー再生やランダム再生を設定します。

㉑ ▶▶❙ボタン〔22〜26、29、31、33、34、36、44〜61、63〜66、68、71〜73〕
CD、MDのときは後の曲を選びます。ラジオを聞いているときは、登録した放送局を選びます。設定時は項目を選びます。別売りのカセットテープデッキの場合は、早送りをします。

エンター
㉒ ENTERボタン〔29、31、34、36、44〜47、49〜61、63、64、66、71〜73〕
編集や各設定で項目の確定をします。

㉓ ▶▶ボタン〔22〜26、29、32、33、65〕
再生中の曲を早送りします。文字入力時、カーソル移動をします。また、周波数の選択にも使用します。

㉔ FM/AMボタン〔29、31、32、65〕
入力をFMまたはAMに切り換えます。

トーン
㉕ TONEボタン〔34〕
低音、高音を調整します。

スーパー　バス
㉖ S.BASSボタン〔34〕
重低音を強調します。

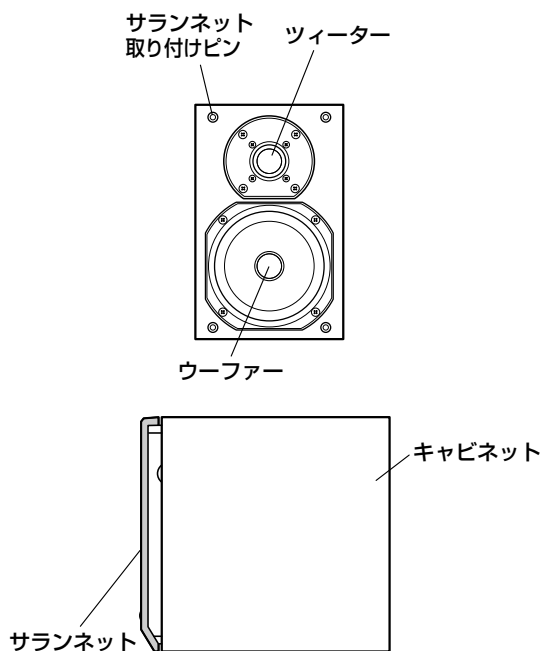
ミューティング
㉗ MUTINGボタン〔34〕
音量を一時的に小さくします。

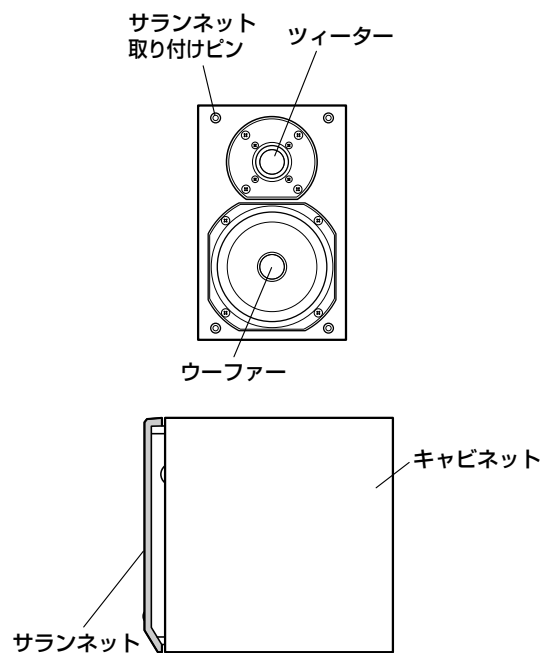
各部の名前と主な働き

スピーカー

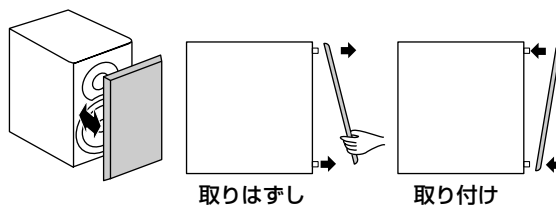
D-B8、D-B7は左側スピーカーと右側スピーカーの形は同じです。どちらを左側/右側で使用しても音質は変わりません。

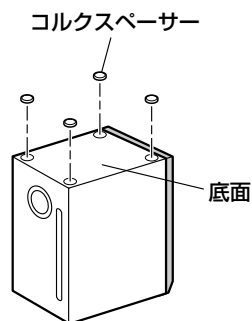
●D-B8

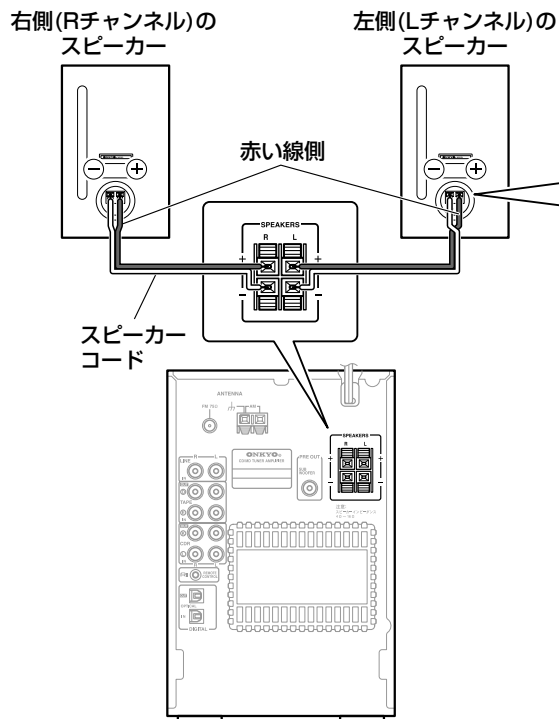
「FR-B8」にはスピーカー「D-B8」が付属しています。

●D-B7

「FR-B7」にはスピーカー「D-B7」が付属しています。

サランネットの脱着について

このスピーカーは前面のサランネットを取りはずすことができます。サランネットを付けたりはずしたりするときは、次のように行ってください。

1. サランネットの下側を両手で持ち、手前に軽く引っ張り、サランネットの下側をはずします。
2. 同じようにサランネットの上側を手前に引っ張ると、サランネットは本体からはずれます。
3. 取り付けるときは、サランネットの四隅にあるホルダーを本体のサランネット取り付けピンに合わせて押し込みます。

付属のコルクスペーサーを使う

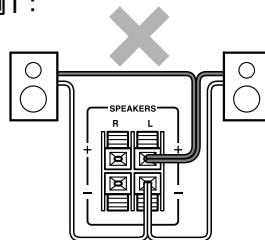
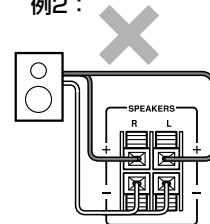
よりよい音でお楽しみいただくために、付属のコルクスペーサーのご使用をおすすめします。また、コルクスペーサーを使用することで、すべりにくく安定して設置することができます。

接続する

スピーカーを接続する

1.ビニールカバーをはずしスピーカーコードのしん線部をよじります。

2.スピーカー端子のレバーを押しながらコードの先端を差し込みます。
指を離すとレバーが戻ります。
しん線がわずかに外に出ているようにしてください。

3.スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。

- スピーカーはインピーダンスが4Ω(オーム)〜16Ωのものを接続してください。4Ω未満のスピーカーを接続すると、アンプ部が故障することがあります。
- スピーカーの(+)と本体の(+)を、スピーカーの(−)と本体の(−)を接続します。付属のスピーカーコードの赤い線の方を(+)側に接続してください。
- 片チャンネルのスピーカー端子に複数のスピーカーを接続（例1）したり、1つのスピーカーから両チャンネルのスピーカー端子に並列して接続（例2）しないでください。故障の原因になります。

- 故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線どうしや後面パネルに絶対に接触させないでください。
- 右側に設置するスピーカーは、本機のスピーカー端子のRに、左側に設置するスピーカーはLに接続してください。

スピーカーの設置について

スピーカーの音質は、設置する部屋の構造、広さ、家具の配置や大きさなどによって大きく変化します。より良い音を楽しんでいただくために、次のことにご注意ください。

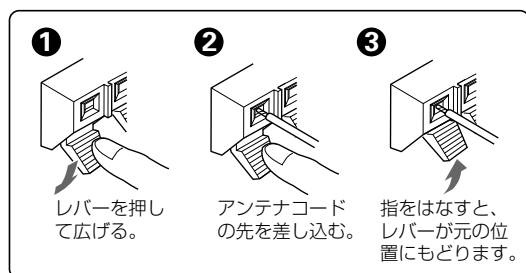
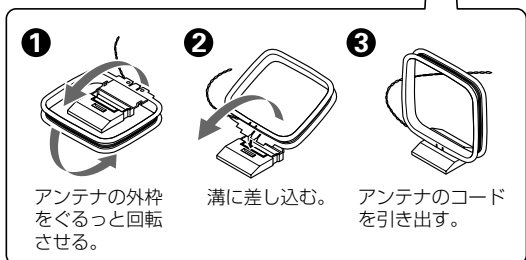
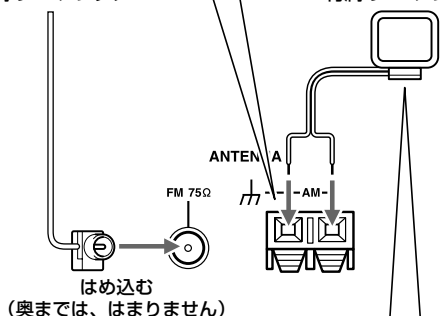
- スピーカーを床に直接置くと、低音が出過ぎていわゆるブーミーな音になります。スピーカースタンドまたはブロック、レンガ、堅い棚等の上に置くようにしてください。
- 低音が足りないときは、スピーカースタンドを低くして堅い壁面の前に置くと、低音を豊かにすることができます。
- 部屋の中では家具や壁の影響で音質が変わります。できる限り左右の音響条件が揃うことが、良い結果になります。
- お聞きになる位置（リスニングポジション）が左右のスピーカーを底辺とした正三角形の頂点、または頂点より少しうしろになるように設置するのが理想的です。
- スピーカーの正面にガラス戸や堅い壁があると、音が反射し、ある周波数だけ共振することがあります。このようなときは、厚手のカーテン等をかけて吸音処理をすることをおすすめします。

ご注意

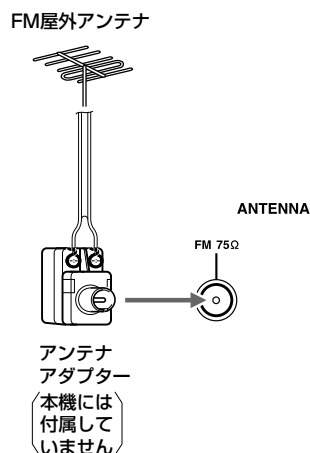
- スピーカーのキャビネットは木工製品ですので、温度や湿度の極端に高いところや低いところは好ましくありません。直射日光のあたるところや冷暖房器具の近く、湿気の多い場所には設置しないでください。
- しっかりした水平な場所に設置してください。
- 特殊な塗装を施しているため、上に物を乗せて長時間経過すると、跡が残ることがあります。また、テープの貼り付けによっても跡が残ることがありますので、ご注意ください。

ラジオのアンテナを接続する

付属のFM/AMアンテナを接続する

アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながら行います。（☞32ページ）

！ヒント

AMアンテナのコードは、分岐した先端を左右端子のどちらに接続してもかまいません。（スピーカーコードのように、左右や+/−などの区別はありません。）

FM屋外アンテナを接続する

FM屋外アンテナについて

市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

！ヒント

- 建物の陰にならず、FM放送電波が直接受信できる所に設置してください。
- 自動車のエンジンによる雑音を避けるため、道路からできるだけ離れたところに設置してください。

ご注意

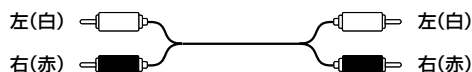
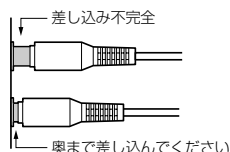
送電線の近くは危険ですので絶対に設置しないでください。
- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

外部機器を接続する

接続の前に

- イラストはオンキヨー製品ですが、他の機器でも接続方法は同じです。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードは全ての接続が終わるまでつながないでください。

オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。

- 赤いプラグ（Rの表示）を右チャンネル、白いプラグ（Lの表示）を左チャンネルに接続してください。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- テレビの映像が乱れたり、本機の出力音声に雑音が入るときは、本機をテレビからできるだけ離して設置してください。

光デジタル入力端子/出力端子について

FR-B8の光デジタル入出力端子は、すべてとびらタイプですので、とびらをそのまま奥へ倒すようにして光デジタルケーブルを差し込んでください。

光デジタルケーブルは、まっすぐ抜き差ししてください。ななめに抜き差しすると、とびらが破損する場合があります。

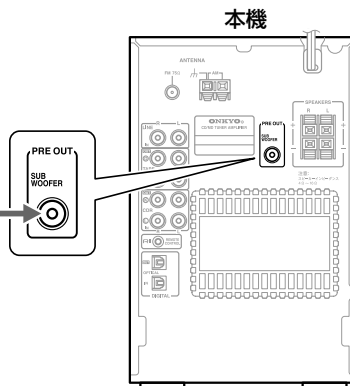
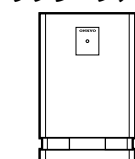
設置の際は、本機の上部に他の機器をのせないでください。
通風孔がふさがれて危険です。

音声ケーブルと端子の種類について

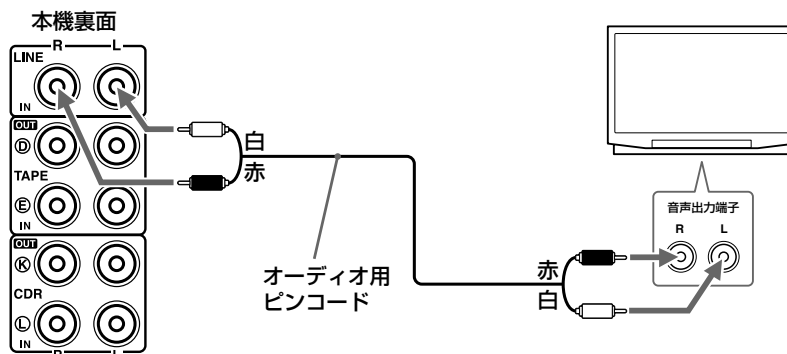
本機にケーブルは付属していません。

ケーブルの名称	ケーブルの形	端子の形	ケーブルや端子の役割
光デジタルケーブル（OPTICAL）（オプティカル）		OPTICAL	デジタル信号を伝送します。（FR-B8のみ）
オーディオ用ピンコード		AUDIO R L	アナログ音声を伝送します。

サブウーファーを接続する

本機のサブウーファー出力はプリアウトですので、サブウーファーはアンプ内蔵のもの（アクティブサブウーファー）を接続してください。

（イラストはFR-B8です）

テレビの音をFR-B8/FR-B7で聞く接続をする

本機のLINE IN端子とテレビの音声出力端子を接続してください。

！ヒント

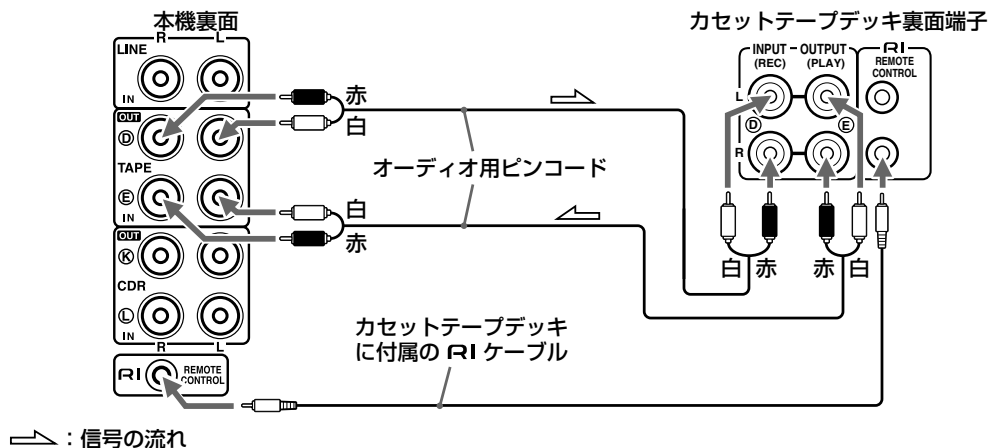
- 外部入力の表示名称を「LINE」から「TV」に変更することもできます。（☞73ページ）
- 本機はRIオーディオコントロール端子付きテレビとの連動機能はありません。

カセットテープデッキを接続する（イラストは別売りのオンキヨー製カセットテープデッキとの接続例です。）

■オンキヨー製カセットテープデッキとの接続

本機のTAPE OUT端子Ⓓとカセットテープデッキの IN端子Ⓓを接続してください。
本機のTAPE IN端子Ⓔとカセットテープデッキの OUT端子Ⓔをそれぞれ接続してください。

RI端子接続をすると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）

- 本機付属のリモコンでオンキヨー製カセットテープデッキも操作できます。
- オンキヨー製カセットテープデッキの再生をすると、本機の入力が自動的にTAPEに切り換わります。
- システム録音操作ができます。（☞42ページ）
- 外部入力の表示名称を「TAPE」にする必要があります。（お買い上げ時の設定は「TAPE」ですので、そのままお使いください。）

■その他のカセットテープデッキと接続する場合

本機のTAPE OUT端子Ⓓとカセットテープデッキの音声入力端子、本機のTAPE IN端子Ⓔとカセットテープデッキの音声出力端子をそれぞれ接続してください。

CDレコーダーを接続する（イラストは別売りのオンキヨー製CDレコーダーとの接続例です。）

■オンキヨー製CDレコーダーとの接続

FR-B8の場合

FR-B8のCDR OUT端子Ⓚとの CDレコーダーのIN（REC）端子Ⓚを接続してください。

FR-B8のCDR IN端子ⓁとCDレコーダーのOUT（PLAY）端子Ⓛを接続してください。

FR-B8からCDレコーダーにデジタル録音するには、オーディオ用光デジタルケーブルを使って、FR-B8のDIGITAL OUT端子とCDレコーダーのDIGITAL INPUT1端子を接続します。

FR-B7の場合

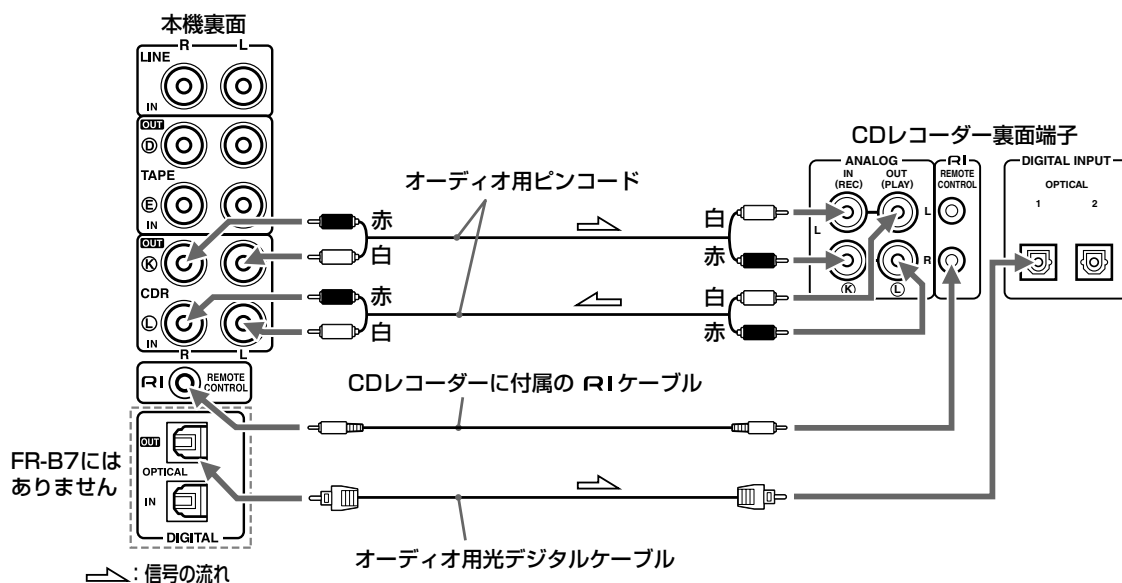
FR-B7のVIDEO OUT端子ⓀとCDレコーダーのIN（REC）端子Ⓚを接続してください。

FR-B7のVIDEO IN端子ⓁとCDレコーダーのOUT（PLAY）端子Ⓛを接続してください。

ご注意

FR-B7にはデジタル端子がありません。FR-B7とCDレコーダー間の録音は、アナログ信号の録音になります。また、本機とCDレコーダー間でCDダビング機能は働きません。

RI端子接続をすると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）

- 本機付属のリモコンでオンキヨー製CDレコーダーも操作できます。
- 本機にCDレコーダーとカセットテープデッキを接続する場合は、両機器間のRI端子も接続してください。
- オンキヨー製CDレコーダーの再生をすると、本機の入力が自動的にCD-Rに切り換わります。
- 外部入力の表示名称を「CD-R」にする必要があります。（☞73ページ。FR-B8の場合、お買い上げ時の設定は「CD-R」ですので、そのままお使いください。）

■その他のCDレコーダーと接続する場合

本機のCDR OUT端子ⓀとCDレコーダーの音声入力端子、本機のCDR IN端子ⓁとCDレコーダーの音声出力端子をそれぞれ接続してください。

FR-B8からCDレコーダーにデジタル録音するには、オーディオ用光デジタルケーブルを使って、FR-B8のDIGITAL OUT端子とCDレコーダーのデジタル入力端子を接続します。

接続する

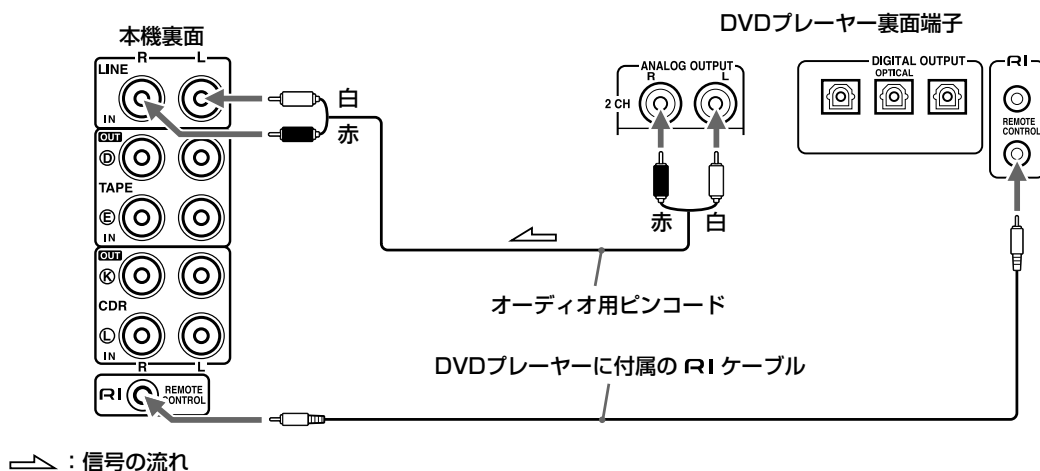
DVDプレーヤーを接続する（イラストは別売りのオンキヨー製DVDプレーヤーとの接続例です。）

■オンキヨー製DVDプレーヤーとの接続

本機のLINE IN端子とDVDプレーヤーのANALOG OUTPUT端子を接続してください。

RI端子を接続すると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）

- オーディオ用ピンコードとRIケーブルを接続した場合は、外部入力の表示名称を「DVD」にする必要があります。（☞73ページ）お買い上げ時は「LINE」に設定されています。
- オンキヨー製DVDプレーヤーを再生すると、本機の入力が自動的にDVDに切り換わります。

：信号の流れ

■その他のDVDプレーヤーと接続する場合

本機のLINE IN端子とDVDプレーヤーのアナログ音声出力端子を接続してください。

ご注意

FR-B8はPCMまたはアナログ信号にしか対応しておりません。それ以外の信号が入力されると、ノイズが出ることがあります。

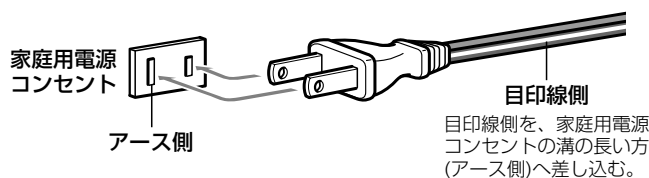
DVDプレーヤーのデジタル音声出力をFR-B8のDIGITAL IN端子に接続する場合は、DVDプレーヤー側でPCM出力に設定してください。ただし、DVDプレーヤーによってはPCMに設定できない場合があります。
また、FR-B7はデジタル端子を装備しておりませんので、アナログ信号のみ対応になります。

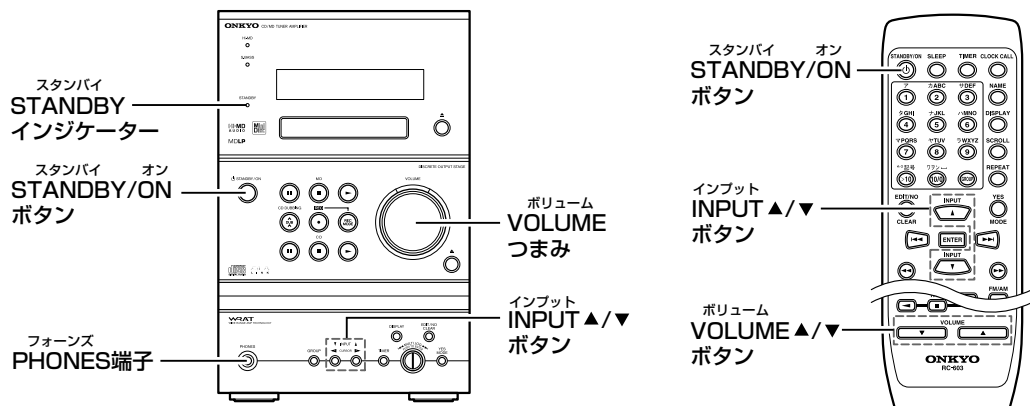
電源コードを接続する

すべての接続が完了していることを確認してください。
電源コードを接続すると、本機はスタンバイ状態となり、STANDBYインジケーターが点灯します。

よりよい音で聞いていただくために

本機の電源コードは極性の管理がされています。電源コードの片側に目印線の入っている側を家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合は、どちらを接続してもかまいません。

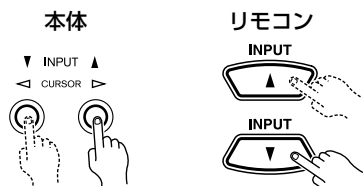
例：

基本の操作を理解する

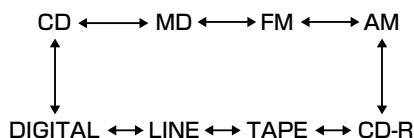
電源を入れる

本体またはリモコンのSTANDBY/ON(スタンバイ/オン)ボタンを押す

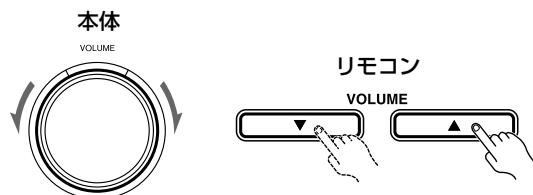
電源を切るときは、同じボタンをもう一度押します。

！ヒント

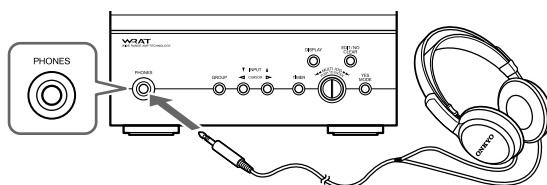
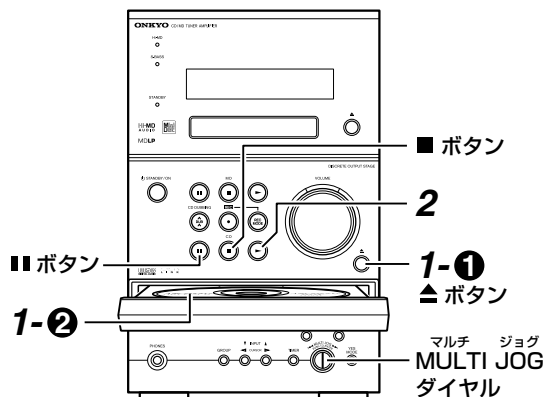
本機にRIケーブルおよびオーディオ用ピンコードで接続されているオンキヨー製CDレコーダーやカセットテープデッキの電源を入れたり、再生を始めると、本機の電源が自動的に入ります。また、本機のスタンバイとオンを切り換えると、接続されているこれらの機器の電源が入ったり、スタンバイ状態になります。

入力を切り換える

本体またはリモコンのINPUT(インプット)▲/▼ボタンを押して切り換える

CD、MD、FM放送、AM放送、接続した外部機器から選べます。
ボタンを押すごとに、入力が以下のように切り換わります。

●FR-B8の場合

音量を調節する

本体のVOLUME(ボリューム)つまみを回すか、リモコンのVOLUME(ボリューム)▲/▼ボタンを押す

ヘッドホンで聞くときは

ヘッドホンのステレオミニプラグをPHONES(フォーンズ)端子に接続します。接続するときは、音量を下げてください。ヘッドホンを接続するとスピーカーの音は消えます。

CDを聞く

操作の前に
電源を入れてください。

1 （CD側）

CDをセットする

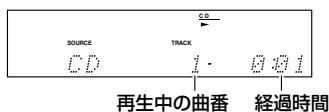
❶CDの⏏（オープン/クローズ）ボタン押して、トレイを開く

❷CDをトレイに置く
レーベル面を上にしてトレイの上に置きます。
8cmCDのときは、内側のくぼみの中に置きます。

！ヒント
スタンバイ状態のときにCDの⏏（オープン/クローズ）ボタンを押すと、自動的に電源が入ります。

2 （CD側）

CDの►（プレイ）ボタンを押す

トレイが閉まって再生が始まります。

再生中の曲番　経過時間

聞きたい曲を選ぶ

- 再生中にMULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを左に回すと再生中の曲の頭に戻り、さらに回すと1曲ずつ前に戻ります。右に回すと1曲ずつ次へ進みます。
停止中は左に回すと1曲ずつ前の曲に戻り、右に回すと1曲ずつ次の曲に進みます。
リモコンでは、再生中に⏮ボタンを押すと再生中の曲の頭に戻り、さらに押すと1曲ずつ前に戻ります。停止中は⏮ボタンを押すと1曲ずつ前の曲に戻り、⏭ボタンを押すと1曲ずつ次の曲に進みます。

- 停止中はMULTI JOGダイヤルを押すと、再生が始まります。再生中にMULTI JOGダイヤルを押すと、1曲ずつ次の曲に進みます。

リモコンで早戻し/早送りをする

再生中、一時停止中に押しつづけ、聞きたいところで指をはなします。

一時停止する

CDの❚❚（ポーズ）ボタンを押す

表示部に❚❚表示が点灯します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

CDの■（ストップ）ボタンを押す

CDを取り出す

CDの⏏ボタンを押してトレイを開ける

リモコンで操作する

CDを選ぶ

聞きたい曲を選ぶ

※ 再生中、一時停止中に⏮ボタンを１回押すと聞いている曲の頭に戻り、２回押すと、前の曲に戻ります。以降、押すたびに１つ前の曲になります。

※ ⏭ボタンを押すと、押すたびに１つ次の曲になります。

早戻し/早送りをする

再生中/一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。

再生を一時停止する

もう一度押すと、一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

表示部の情報を切り換える

DISPLAYボタンを押します。

数字ボタン

選曲して再生する

10/0ボタン :10または0を選びます。

>10ボタン : 2桁以上の曲を選びます。

例） 曲番	押すボタン
8	8
10	10/0
34	>10、3、4

11曲目以降を再生するときは、>10を押してから選曲します。

再生する

ＣＤがセットされていれば、スタンバイ状態でも自動的に電源が入り、再生が始まります。

音量を調節する

VOLUME ▲ボタンを押すと音が大きく、VOLUME ▼ボタンを押すと小さくなります。

表示部の情報を切り換える

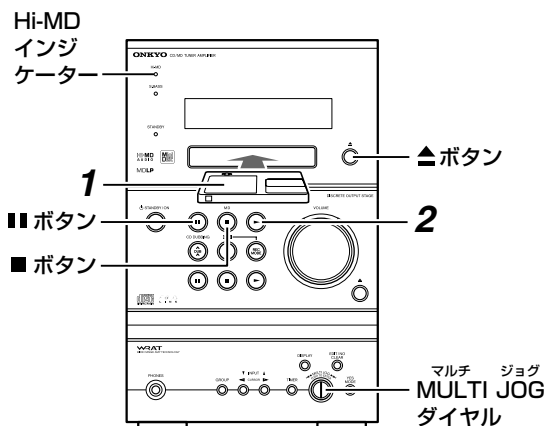
本体またはリモコンのDISPLAYボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

停止中

総曲数　総再生時間（DISC TOTAL）

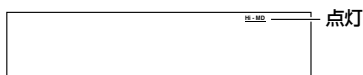
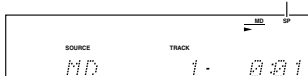
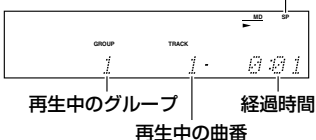
再生中、一時停止中

曲の経過時間
↓
曲の残り時間（REMAIN）
↓
ディスク全体の残り時間（TOTAL REMAIN）

MDを聞く

操作の前に
電源を入れてください。

1 MDをセットする

再生専用か、録音済みのMDを選んでください。
ラベル面を上に、矢印を本体の挿入口に向けて差し込みます。
軽く押すと自動的に引き込まれます。

- Hi-MDの場合は、Hi-MDインジケーターが点灯します。

2 MDの►(プレイ)ボタンを押す

（MD側）

再生が始まります。

グループのあるMDのとき

聞きたい曲を選ぶ

- 再生中にMULTI(マルチ) JOG(ジョグ)ダイヤルを左に回すと再生中の曲の頭に戻り、さらに回すと1曲ずつ前に戻ります。右に回すと1曲ずつ次へ進みます。
  停止中は左に回すと1曲ずつ前の曲に戻り、右に回すと1曲ずつ次の曲に進みます。
  リモコンでは、再生中に◀◀ボタンを押すと再生中の曲の頭に戻り、さらに押すと1曲ずつ前に戻ります。停止中は◀◀ボタンを押すと1曲ずつ前の曲に戻り、▶▶ボタンを押すと1曲ずつ次の曲に進みます。

- 停止中はMULTI JOGダイヤルを押すと、再生が始まります。再生中にMULTI JOGダイヤルを押すと、1曲ずつ次の曲に進みます。

リモコンで早戻し/早送りをする

再生中、一時停止中に押しつづけ、聞きたいところで指をはなします。

早戻し　早送り

！ヒント

一時停止中の早戻し/早送りは音が出ません。表示部の経過時間で確認してください。

一時停止する

MDの❚❚(ポーズ)ボタンを押す

表示部に❚❚表示が点灯します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

MDの■(ストップ)ボタンを押す

MDを取り出す

MDの▲(イジェクト)ボタンを押す

リモコンで操作する

MDを選ぶ

聞きたい曲を選ぶ

※ 再生中、一時停止中に ⏮ボタンを1回押すと聞いている曲の頭に戻り、2回押すと、前の曲に戻ります。以降、押すたびに1つ前の曲になります。

※ ⏭ボタンを押すと、押すたびに1つ次の曲になります。

早戻し/早送りをする

再生中/一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。

再生する

MDがセットされていれば、スタンバイ状態でも自動的に電源が入り、再生が始まります。

再生を一時停止する

もう一度押すと、一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

表示部の情報を切り換える

DISPLAYボタンを押します。

数字ボタン

選曲して再生する

10/0ボタン :10または0を選びます。
>10ボタン : 2桁以上の曲を選びます。ディスクやグループに含まれる曲数に応じた桁を表します。

例)

曲数	選ぶ曲番	押すボタン
300	13	>10 0 1 3
1000	12	>10 0 0 1 2

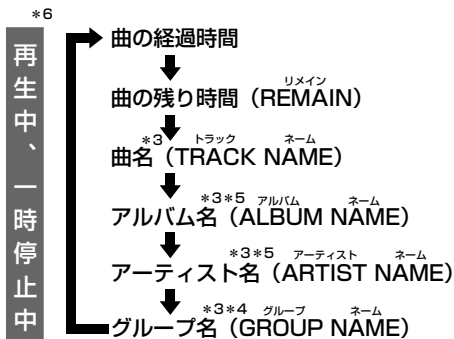
グループの選びかたは、48ページをご覧ください。

ディスク名/曲名をスクロール表示する

音量を調節する

VOLUME ▲ボタンを押すと音が大きく、VOLUME ▼ボタンを押すと小さくなります。

表示部の情報を切り換える

本体またはリモコンのDISPLAYボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。何も録音されていないMDのときは、「MD Blanc Disc」と表示されます。

*1 総時間が999分59秒を超える場合は「−−−：−−」と表示されます。DISPLAYボタンを押すと「○○h○○m○○s」に切り換えられます。

*2 再生専用ディスクのときは表示しません。

*3 リモコンのSCROLLボタンを押すと、全ての文字を順番に表示させることができます。
名前がついていないときは、表示されません。（☞「MD、登録した放送局に名前をつける」62ページ）

*4 選択された曲がグループに入っていない場合は表示されません。

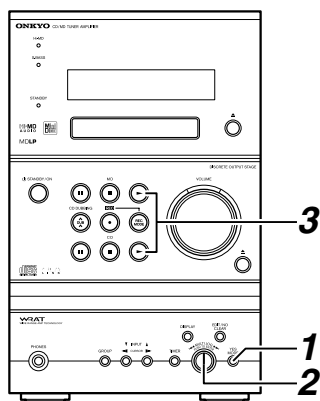
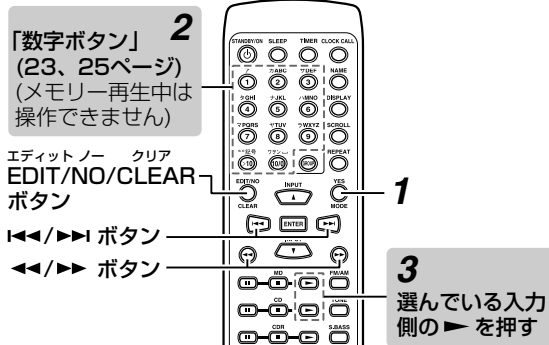
*5 ディスクがHi-MDモードのときのみ表示されます。

*6 DISPLAYボタンを押し続けると、その曲の録音モードが表示されます。パソコンなどを使って、本機にはない録音モードで録音された曲の場合はビットレート（**kbps）が表示されます。

CD/MDのいろいろな再生

基本の再生以外に、いろいろな再生とリピート機能による様々な再生をお楽しみいただけます。

メモリー再生

- 曲を指定し（CD、MDそれぞれ25曲まで）、その順序で再生します。
- CDのお好みの曲をメモリーし、CDダビンク機能と組み合わせるとお好みのMDを簡単に作成できます。（CD倍速ダビングはできません。）

リモコンで操作する

- グループ内の曲を選ぶには、48ページをご覧ください。

入力がCD/MDで停止中

1 YES/MODEボタンを（くり返し）押して、「MEM」を表示する

「MEN」が点灯

2 MULTI JOGダイヤルを回して曲を選び、ダイヤルを押して確定する

次の曲を選ぶときは本手順をくり返します。

予約曲番　予約曲の合計再生時間

間違って予約した曲を取り消すには

EDIT/NO/CLEARボタンを（くり返し）押すと、新しく入力したものから取り消されていきます。

！ヒント

予約時間の合計が以下の時間を越えると合計時間表示が不可能になりますが、再生に支障はありません。
CD：99分59秒を超えると「--:--」となります。
MD：999分59秒を超えると「---:--」となります。
26曲以上は予約できません。
「Memory Full」と表示されます。

3 CDまたはMDの►ボタンを押す

メモリー再生が始まります。
再生が終わっても予約内容は消えません。

再生中の曲番

予約した曲のなかで選曲する

再生中にMULTI JOGダイヤルを回すか、リモコンの⏮/⏭ボタンを押すと、予約した曲の中から選曲ができます。

予約した内容を確認するには

停止中に◀◀/▶▶ボタンを押して予約内容を確認できます。

予約した曲を取り消すには

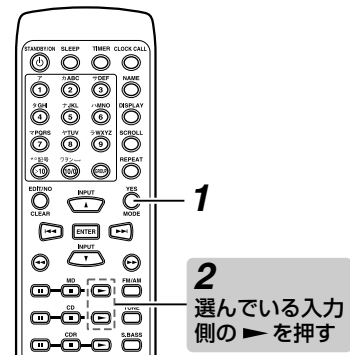
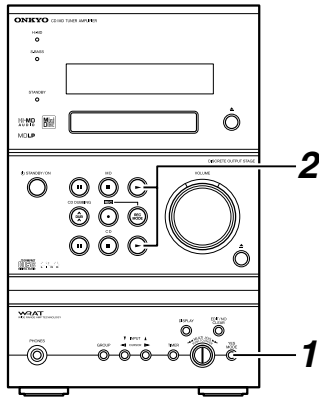
- メモリー再生モードの停止中に、EDIT/NO/CLEARボタンを（くり返し）押すと、最後の予約曲から取り消すことができます。
- 一度再生モードを切り換えると、記憶した内容は消えます。

解除するには

☞「通常再生に戻す」28ページ

- ディスクを取り出したり、スタンバイ状態にしても解除されます。

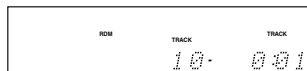
ランダム再生

- 曲順をランダムに並べかえて、全曲を1通り再生します。

リモコンで操作する

入力がCD/MDで停止中

1 YES/MODEボタンを(くり返し)押して、「RDM」を表示する

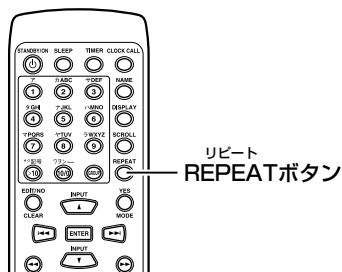
2 CDまたはMDの►ボタンを押す

再生が始まります。

解除するには

☞「通常再生に戻す」28ページ

- ディスクを取り出したり、スタンバイ状態にしても解除されます。

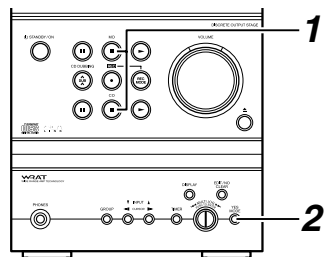
リピート/1TR リピート再生

- リモコンで設定します。
- リピート再生はCD、MDのどちらかをくり返し再生します。
- 1TRリピート再生はCD、MDのどちらか1曲をくり返し再生します。
- リピート再生は1GR再生（☞49ページ）、メモリー再生、ランダム再生や通常の再生と組み合わせて使うことができます。1TRリピート再生は通常再生のみ組み合わせて使うことができます。

リモコンのREPEATボタンを（くり返し）押して、「REPEAT」または「REPEAT 1」を表示する

「REPEAT」または「REPEAT 1」が点灯

REPEAT 1

リピートまたは1TR リピート再生モードになります。

通常再生にもどす

メモリー、ランダム再生を取り消す

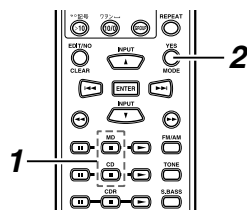
1 CDまたはMDの■ボタンを押して再生を止める

または

2 YES/MODEボタンを（くり返し）押して、「NORMAL」を点灯させる

「NORMAL」が点灯

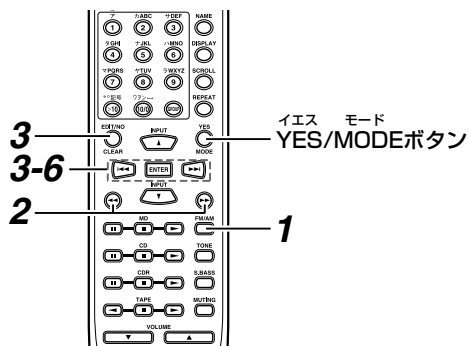
NORMAL

リモコンで操作する

リピート、1TR リピート再生を取り消す

リモコンのREPEATボタンを（くり返し）押して、「REPEAT」、「REPEAT 1」のいずれも表示されていない状態にする

FM、AM局を登録する

1局ずつ登録する－プリセットライト－

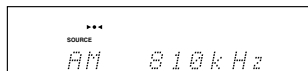
AM局は周波数を手動で合わせて、1局ずつ登録します。
（FMは、この方法と自動で登録する方法「オートプリセット」があります。）

予 備 知 識

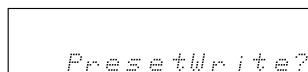
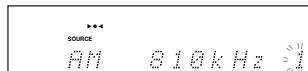
- FM、AM合わせて30チャンネルまで登録できます。例えば、FMで8チャンネル使っている場合はAMで22チャンネルまで登録できます。
- FM、AMは独立して表示されますので、FMとAMに同じチャンネル番号があってもかまいません。
- 1局ずつ登録する場合は、お好みのチャンネル番号に登録することが可能です。例えばAMチャンネル2、5、9のようにすることができます。

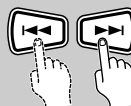
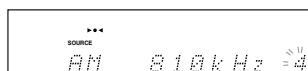
操作の前に
電源を入れてください。

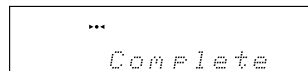
1 FM/AMボタンを(くり返し)押して、「AM」を表示する

FM局を登録するときは「FM」を表示します。

2 ◀◀/▶▶ ボタンを押して、受信したい放送局の周波数を表示する

ボタンを押し続けると連続して周波数が変わります。

3 EDIT/NO/CLEARボタンを押し、I◀◀/▶▶Iボタンを押して「Preset Write?」を表示する

4 ENTERボタンを押す

登録するチャンネルが表示されます。
中断するときはEDIT/NO/CLEARボタンを押します。

5 別のチャンネルに登録するときは、I◀◀/▶▶Iボタンを押す

6 ENTERボタンを押して決定する

放送局が登録され、「Complete」(完了)と表示された後、通常表示に戻ります。

➥次ページへ続く

- 「Overwrite?」(書き換えますか?)と表示されたときは

Overwrite? 4

選んだチャンネル番号は登録済みです。

○すでに登録されている放送局を消して新しい放送局を登録するときは、YES/MODEボタンを押します。

○登録をやめるときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

YES
MODE
EDIT/NO
CLEAR

- 「Memory Full」と表示されたときは

Memory Full

FM、AM合わせてすでに30チャンネル登録されています。不要なチャンネルを削除してから（☞60ページ）、再度登録してください。

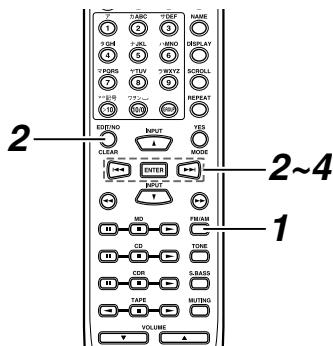
7 **次を登録するときは、手順*2*～*6*をくり返す**

！ヒント

登録したあとにこんなこともできます。
- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞62ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞60ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞61ページ

FM局を登録する

自動で登録する−オートプリセット−

登録すれば放送局を周波数で合わせなくても選局ができます。受信から登録まで、一括して自動（オート）で行えます。
AM局は自動で登録できませんので、29ページをご覧ください。

操作の前に

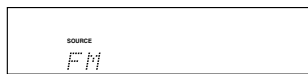
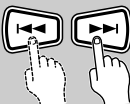
電源を入れてください。
FMの受信状態が良好になるようにFMアンテナの位置を調整してください。（☞32ページ）

ご注意

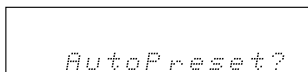
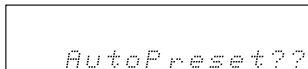
お使いの場所によっては、放送局でないもの（ノイズ）が登録されることがあります。このようなチャンネルは削除してください。（☞60ページ）

1

FM/AMボタンを(くり返し)押して、「FM」を表示する

2

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、
⏮/⏭ボタンを押して
「AutoPreset?」を表示する

AutoPreset?

3

ENTERボタンを押す

AutoPreset??

再確認のため、「AutoPreset??」が表示されます。

中断するときはEDIT/NO/CLEARボタンを押してください。

予備知識

- FMの受信周波数は76.00〜108.00MHzですが、オートプリセットは76.00〜90.00MHzの間で行います。
- 既にFM局を登録してある場合、オートプリセットを行うと前の登録はすべて消え、新たに登録されます。

4

ENTERボタンを押す

AUTO FM ST
SOURCE
FM 79.00MHz 1

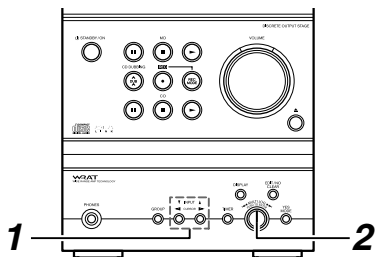
オートプリセットが始まります。
周波数の低い順から自動的に放送局を検索し、最大20局まで登録していきます。

！ヒント

登録したあとにこんなこともできます。

- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞62ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞60ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞61ページ

FM/AM放送を聞く

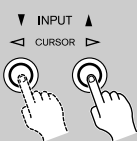
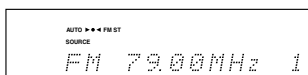
あらかじめ放送局を登録しておいてください。
(☞29～31ページ)

操作の前に
電源を入れてください。

1

入力をFMまたはAMにする

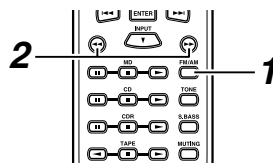
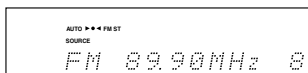
INPUT(インプット)▲/▼ボタンを押して、FMまたはAMを選びます。

AUTO FM ST
SOURCE
FM 79.00MHz 1

2

MULTI(マルチ) JOG(ジョグ)ダイヤルを回してプリセットチャンネルを選ぶ

左に回すと前のチャンネルを、右に回すと次のチャンネルを選べます。

AUTO FM ST
SOURCE
FM 89.90MHz 8

手動で周波数を合わせるときは

1

入力をFMかAMにする

2

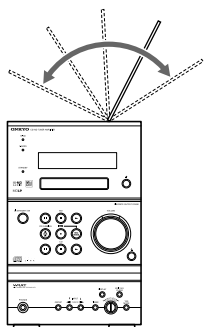
リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して、表示部をみながら周波数を合わせる

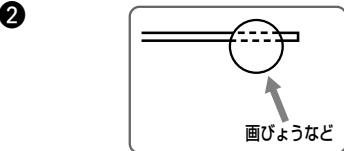
一回押すごとに周波数がFMでは0.05MHz、AMでは9kHzずつ変わります。押し続けると周波数が連続して変化します。FMの場合は◀◀または▶▶ボタンをしばらく押してから手を離すと自動的に周波数が上がり（下がり）、放送局があると自動で停止します。

アンテナの調整をする

FM室内アンテナを調整して固定する

FM放送を聞きながらFMアンテナの調整をします。

❶

アンテナの方向を変えて受信状態が良好になるように設置場所をみつける。

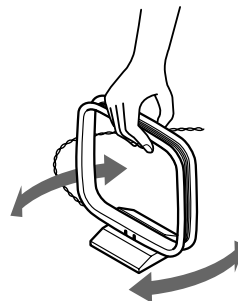
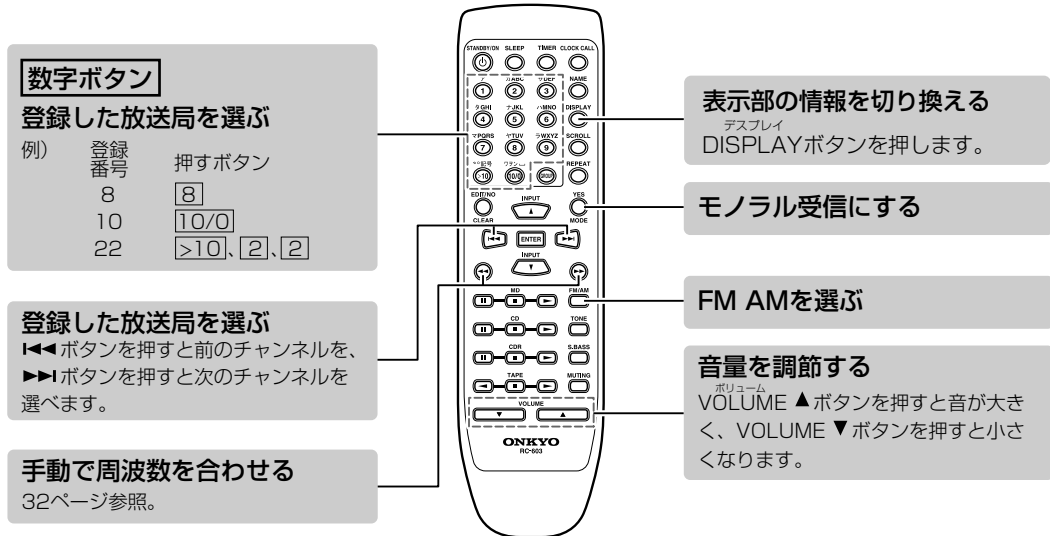
❷

画びょうなどでアンテナの先を軽くはさんで止める。

ご注意　画びょうでを使うときは、指先などにけがをしないように注意してください。

！ヒント

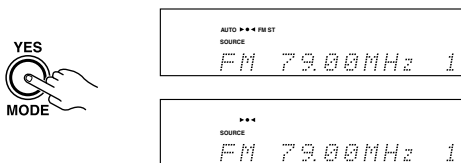
はずれてしまう場合は、アンテナの先端を結ぶと止めやすくなります。

AM室内アンテナを調整する

AM放送を聞きながら受信状態が良好になる位置に置き直したり、左右に回して調整します。

リモコンで操作する

表示部の情報を切り換える

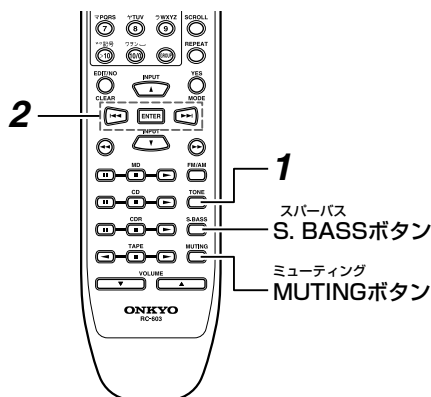
本体またはリモコンのDISPLAYボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

- 登録した放送局に名前がついていないときは、「No Name」が表示され、周波数表示に戻ります。
  ☞「MD、登録した放送局に名前をつける」（62ページ）

FM放送を受信しにくいときは

電波の弱い所や雑音の多い所ではYES/MODEボタンを押し、AUTOの表示を消してモノラル受信にしてください。雑音や音切れを軽減できます。
AUTOにもどすときは、同じボタンを再度押します。

音質を調整する

低音を調整する

1

TONEボタンを（くり返し）押して、「Bass」を表示させる

2

⏮/⏭ボタンを押して調整し、ENTERボタンを押して確定する

- お買い上げ時の設定は「±０」ですが、－10から＋10の間で2ステップずつ調整できます。
- ENTERボタンを押すと、高音の調整になります。

ご注意

操作の間、約8秒間何もしないと元の表示に戻ります。

高音を調整する

1

TONEボタンを（くり返し）押して、「Treble」を表示させる

2

⏮/⏭ボタンを押して調整し、ENTERボタンを押して確定する

- お買い上げ時の設定は「±０」ですが、－10から＋10の間で2ステップずつ調整できます。
- ENTERボタンを押すと、元の表示に戻ります。

ご注意

操作の間、約8秒間何もしないと元の表示に戻ります。

重低音を強調する

S.BASSボタンを押す

ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

S.BASS機能が働いているときは、S.BASSインジケーターが点灯します。

音量を一時的に小さくする

MUTINGボタンを押す

MUTING表示が点滅し、音量がごく小さくなります。

MUTING

もう一度押すと、解除されます。
以下のときも解除されます。

- 音量を調整したとき
- 一度電源を切ってから再度電源を入れたとき

MDの基礎知識

MDには再生専用と録音用の2種類があります。
カセットテープなどは巻き戻しておくと前回録音したものに上書きして録音されますが、MDの場合は、以前録音された曲の続きに録音されます。始めから録音したい場合は、すでに録音されているものを消去してから録音を開始します。
録音をしたり、名前をつけたり、編集した情報はMDの目次部分（TOC＝Table Of Contents（テーブル オブ コンテンツ））に書き込まれます。

TOC表示が点灯しているとき（録音中や名前をつけたときなど）
MDのTOCに書き込む情報が本体のメモリーに保存されている状態です。

TOC表示が点滅しているとき（録音停止時やディスクを取り出すときなど）
MDに情報を書き込んでいる最中です。この状態のときは、電源プラグを抜いたり、揺らしたりしないでください。停電になった場合は、停電前の記録内容は消去されます。

MDLPって？

人の耳には聞こえない音をカットし、データを圧縮して録音します。そのため、録音可能時間が通常の2倍や4倍になります。LP2やLP4など、MDモードのときに選べます。

グループ機能って？

1枚のMDに入っている曲を好みのグループに分けることができます。MDLPやHi-MDモードでたくさんの曲が入っているディスクで使用すると便利です。（☞48ページ）

Hi-MDって？

本機のMDはHi-MDモード、MDモードの2種類に対応しています。
- Hi-MDロゴの付いていない、60/74/80分ディスクは初期化（☞36ページ）することで、Hi-MDモードにすることができます。ただし、Hi-MD規格専用1GBディスクはHi-MDモード専用で、MDモードにすることはできません。
- Hi-MDモードでは記録方式を変え、従来のLP2やLP4と比べて高圧縮、高音質を実現しました。これによって、高音質を確保しながらMDモードより長い時間記録することができます。

MDモードとは従来の音楽データのみ記録するモードです。
Hi-MDモードはMDの新しい形式で、従来の音楽データだけでなく、パソコンを使ってテキスト（文字）や画像データを記録することができます。本機で可能な操作は音楽データの録音、再生、削除のみです。また、パソコンでファイルとして転送された音楽データは本機では再生できません。

■Hi-MDモードとMDモードの選びかた

1枚のディスクにMDモードとHi-MDモードを混在させることはできません。下記の項目を参考に、用途に応じてディスクごとに選択してください。

Hi-MDモード
- 本機でのみMDを使用する場合
- 本機で録音したディスクをHi-MD対応機器でしか再生しない場合（他にお手持ちのポータブルMD、車載MDプレーヤーなどもHi-MDに対応している場合）

次ページでHi-MDフォーマットしてください。すでに録音されている曲は消去されます。

MDモード
- 本機で録音したディスクをHi-MDに対応していない機器でも再生する場合（他にお手持ちのポータブルMD、車載MDプレーヤーなどがHi-MDに対応していない場合、Hi-MDモードで作成されたディスクは再生できません。）

■録音モードと録音可能時間

（MDモード時）

録音モード ＼ ディスクの種類	80分ディスク	74分ディスク	60分ディスク
SP(ステレオ録音)	約80分	約74分	約60分
LP2(ステレオ録音)	約2時間40分	約2時間28分	約2時間
LP4(ステレオ録音)	約5時間20分	約4時間56分	約4時間
MONO（モノラル録音）	約2時間40分	約2時間28分	約2時間

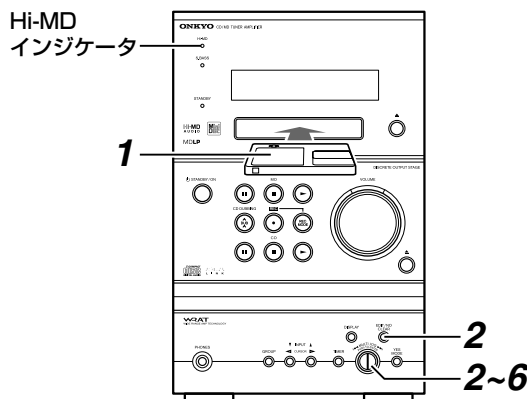
（Hi-MDモード時）

録音モード ＼ ディスクの種類	Hi-MD規格専用1GBディスク	80分ディスク	74分ディスク	60分ディスク
PCM（非圧縮ステレオ録音）	約1時間34分	約28分	約26分	約21分
Hi-SP（ステレオ録音）	約7時間55分	約2時間20分	約2時間10分	約1時間45分
Hi-LP（ステレオ録音）	約34時間	約10時間10分	約9時間25分	約7時間40分

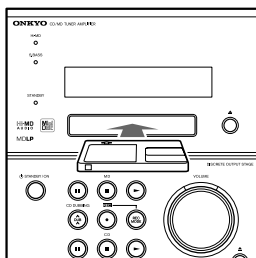
- PCMでは、CDの音楽データを全く圧縮せずに録音するモードで、CDと同じ音質が得られます。ただし、容量をたくさん必要とするため録音可能時間が短くなります。

ご注意
- Hi-MDモードのディスクをHi-MD非対応機器で再生することはできません。
- 1枚のディスク内に、Hi-MDモード、MDモードを混在させることはできません。
- LP2、LP4のモードで録音したディスクは、LP2、LP4モード非対応機器で再生することはできません。

MDを初期化する（ディスクフォーマット）

60/74/80分ディスクをMDモードまたはHi-MDモードにします。（Hi-MD規格専用ディスクはHi-MDモード専用ディスクのためMDモードにはなりません。）
- すでに記録されている音楽データやHi-MDの場合は、その他のデータ（文書や画像データ）もすべて消去して初期化します。

入力がMDで停止中

1

MDをセットする
- MDモードのディスクの場合は、表示部に「MD」と表示されます。
- Hi-MDモードのディスクの場合は、Hi-MDインジケーターが点灯します。

2

MULTI JOG PUSH TO ENTER

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Disc Format?（ディスクを初期化しますか？）」を表示させる

Disc Format?

3

MULTI JOGダイヤルを押す

4

MULTI JOGダイヤルを回して「MD Format?」または「Hi-MD Format?」を表示させる

MD Format?

- MDモードにするときは、「MD Format?」と表示させます。

Hi-MD Format?

- Hi-MDモードにするときは、「Hi-MD Format?」と表示させます。

5

MULTI JOGダイヤルを押す

再確認のため、「Format OK?（データが消去されますがいいですか？）」が表示されます。

Format OK?

6

MULTI JOGダイヤルを押す

MDを初期化します。

MD BlankDisc

ご注意
- MDモードにすると、そのディスクはMDモードになり、再度初期化しない限り、Hi-MDモードにはなりません。
- Hi-MDモードにすると、そのディスクはHi-MDモードになり、再度初期化しない限り、MDモードにはなりません。また、Hi-MD非対応機器で再生することはできません。

！ヒント

リモコンの**EDIT**/NO/CLEARボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

録音する

録音方法の種類

デジタルで録音されたCD-Rをデジタル録音することはできません。

CDダビング ‥‥‥ CD DUBBING（ダビング）ボタンを使って本機CDからMDにワンタッチで録音する
- デジタル入力録音…自動でデジタル入力録音します。
- MDに曲番は自動でつきます。
- DLAリンク（自動で最適な録音レベルに調整する機能）のオン/オフが可能です。

CD倍速ダビング ‥ 上記のCDダビングを約半分の時間で行います
•DLAリンクは働きません。

シンクロ録音 ‥‥‥ オンキヨー製外部機器からMDに録音する
- レベルシンク…（入力レベルの立ちあがりで自動的に曲番をつける機能）のオン/オフが可能です。
- 録音レベル…録音レベルはお好みに調整できます。

シグナル シンクロ録音 ‥‥‥‥‥ その他の外部機器からMDに録音する
- レベルシンク…（入力レベルの立ちあがりで自動的に曲番をつける機能）のオン/オフが可能です。
- 録音レベル…録音レベルはお好みに調整できます。

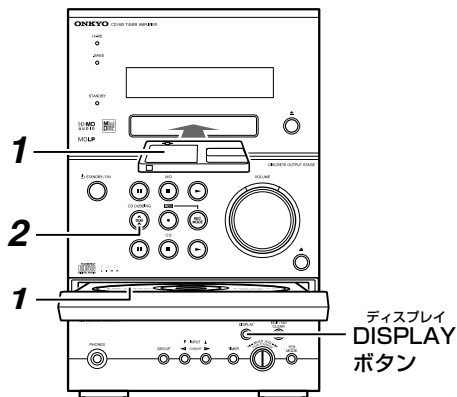
こんな録音はどうするの？		この機能や設定を使うと便利です	
Hi-MDモードで録音したい	➡	初期化してディスクをHi-MDモードにする	36ページ
アルバムCDをMDにそのまま録音したい	➡	CDダビング （CD倍速ダビングもできます）	38ページ 39ページ
今聞いている曲だけを録音したい	➡	トラック指定CDダビング	40ページ
CDの中から好きな曲だけを録音したい	➡	好きな曲だけをダビングする メモリー再生機能と組み合わせて録音します	40ページ
たくさんのシングルCDをMDに録音したい	➡	トラック指定CDダビング	40ページ
短時間で録音をすませたい	➡	CD倍速ダビング	39ページ
FM/AM放送を録音したい	➡	FM/AM放送をMDに録音する	41ページ
オンキヨー製カセットテープデッキやCDレコーダーからMDに録音したい	➡	シンクロ録音	42ページ
その他の外部機器からMDに録音したい	➡	シグナルシンクロ録音	43ページ
たくさんの曲を1枚のMDに入れたい	➡	録音モードを切り換える	44ページ
グループを作りながら録音をしたい	➡	MDグループ録音設定	44ページ
最後まで録音されない曲をフェードアウトさせたい	➡	フェードアウトダビング設定	45ページ
CDの音量レベルのままでCDダビングしたい	➡	DLAリンクを切り換え、 CDダビングをする	45ページ 38ページ
録音レベルを調整したい	➡	録音レベルを調整する	46ページ
CDからMDにアナログで録音したい	➡	アナログ入力録音に設定し、 シンクロ録音をする	46ページ 42ページ
レベルシンクを切り換えたい	➡	レベルシンクを切り換える	47ページ

録音する

CDをMDに録音する（CDダビング）

- ワンタッチデジタル録音です。
- 曲番は自動でつきます。

ご注意

CDがランダム再生モードになっているときは、
CDダビングはできません。

1

DISPLAY

CDとMDをセットする

MDの録音可能な残り時間を確認するには

入力をMDにして、DISPLAYボタンを(くり返し)押してください。

！ヒント

録音モードを切り換えるには、
REC MODEボタンを押します。
(☞44ページ)

2

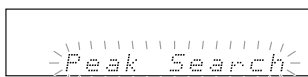
CD DUBBING

CD DUBBINGボタンを押す

“X2 Dubbing?”が3秒間
表示されます。

“CD-MD Dubbing DLA Link On”
または
“CD-MD Dubbing DLA Link Off”
がスクロールします。

<DLAリンク>

CDはPeak Search（最大レベルの検出）を行い、
MDへの最適な録音レベルを設定します。（この機能をオフにすることもできます。☞45ページ）

<録音開始>

その後、録音を開始します。録音にはCDの記録時間と同じだけの時間がかかります。

<録音停止>

CDの再生が終わるか、MDの最後まで録音すると、録音が止まります。
録音停止後、TOC表示が点滅し、録音した情報を書込みます。
90秒程度かかることがあります。

！ヒント

Peak Searchは最長で90秒かかることがあります。

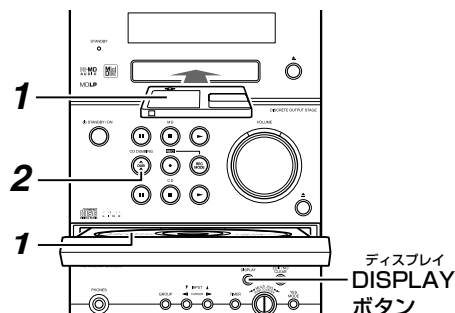
CD ダビング中のご注意

▶、⏸、▲などのボタンは働きません。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体またはリモコンのMD▶ボタンを押します。
録音を始めたところから再生が始まります。

CDをMDに録音する（CD倍速ダビング）

- デジタル録音を通常の約半分の時間で行います。
- 曲番は自動でつきます。
- DLAリンクは働きません。
- CD倍速ダビング中、音声は聞こえません。
- CDがメモリー再生、ランダム再生モードになっているときは、CD倍速ダビングはできません。リピート再生は解除されます。
- CD倍速ダビングは、ディスクの汚れ等の影響をうけやすくなります。音飛び、ノイズ等が発生する場合は、通常のCDダビングで録音してください。

1

DISPLAY

CDとMDをセットする

MDの録音可能な残り時間を確認するには

入力をMDにして、DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを（くり返し）押してください。

！ヒント

録音モードを切り換えるには、REC MODE（レック モード）ボタンを押します。
(☞44ページ)

2

CD DUBBING

CD DUBBING（ダビング）ボタンを2回押す

CD DUBBING（ダビング）ボタンは続けて3秒以内に押してください。

CD-MD×2 Dubbing　がスクロールします

<録音開始>
その後、録音を開始します。録音にはCDの記録時間の約半分の時間がかかります。

<録音停止>
CDの再生が終わるか、MDの最後まで録音にすると、録音が止まります。
録音停止後、TOC（トック）表示が点滅し、録音した情報を書込みます。90秒程度かかることがあります。

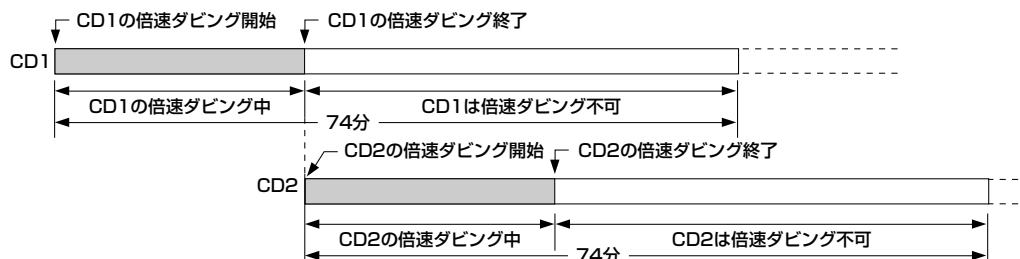
CDダビング中のご注意

▶（プレイ）、⏸（ポーズ）、⏏（イジェクト）などのボタンは働きません。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体またはリモコンのMD▶（プレイ）ボタンを押します。録音を始めたところから再生が始まります。

CD倍速ダビングの制限について（MDモードのディスクのみ）

MDモードでCD倍速ダビングを行ったCDはその記録時間に関係なく、著作権保護のため開始時より74分間はCD倍速ダビングをすることができません。CD倍速ダビングをしようとすると"Time Protect（タイム プロテクト）"と表示され、そのCDがCD倍速ダビングができるまでの待ち時間が表示されます。（例："Wait（ウエイト） 42 min"）他のCDを使用する場合は、続けて録音することができますが、74分以内に21枚以上のCDを続けて録音することもできません。

録音する

CDをMDに録音する（いろいろなCDダビング）

今聞いている曲のみを頭から録音する（トラック指定CDダビング）

❶CDとMDをセットし、CDの►（プレイ）ボタンを押して再生を始める

❷CD鑑賞中に録音したい曲があったら、CD DUBBING（ダビング）ボタンを押す

ピークサーチを行い、その後聞いていた曲の頭から録音が始まります。（ピークサーチが行われるDLAリンク機能は、「オフ」にすることもできます。☞45ページ）
録音にはCDのトラックと同じだけの時間がかかります。
その曲のダビングが終わるとMDは停止します。CDはそのまま再生を続けます。

ご注意

- CD倍速ダビングはできません。
- CDがランダム再生モードになっているときは、CDダビングはできません。

好きな曲だけをダビングする

❶CDとMDをセットし、入力をCDにしたあとメモリー再生の設定をする

26ページの設定を行います。
（再生はしないでください。再生すると、トラック指定CDダビングになります。）

❷CD DUBBING（ダビング）ボタンを押す

ピークサーチを行い、その後録音が始まります。（ピークサーチが行われるDLAリンク機能は、「オフ」にすることもできます。☞45ページ）

ご注意

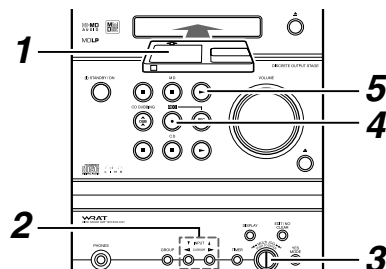
- CDがメモリー再生、ランダム再生モードになっているときは、CD倍速ダビングができません。
- 1TR（ワントラック）リピート再生モードで録音すると正しく曲番がつかない場合があります。

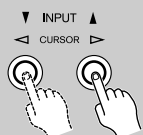
FM/AM放送をMDに録音する

長時間のラジオ番組などを録音するときは、録音モード（☞44ページ）を切り換えて使うと便利です。

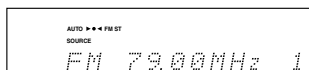
1

MDをセットする

2

INPUT▲/▼ボタンを（くり返し）押して、入力を「FM」または「AM」にする

3

MULTI JOGダイヤルを回して録音したい放送局を選ぶ

AUTO FM ST SOURCE FM 79.00MHz 1

！ヒント

録音モードを切り換えるには、REC MODEボタンを押します。（☞44ページ）

4

●RECボタンを押して、録音待機状態にする

MDグループ録音設定が「オン」になっていると、録音開始時に新しいグループを作成して録音するため、1曲目と表示されます。

録音レベルを調節するときは

☞46ページ

レベルシンクのオン、オフをするときは

☞「曲番をつける－レベルシンク」（47ページ）

5

（MD側）

MDの▶ボタンを押して、録音を始める

▶ SOURCE TRACK MD

録音モード

録音中の曲番

MDの最後まで録音すると、自動的に停止します。

途中で止めるときは、MDの■ボタンを押します。

録音停止後、TOC表示が点滅し、録音した情報を書込みます。90秒程度かかることがあります。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体またはリモコンのMD▶ボタンを押します。録音を始めたところから再生が始まります。

一時停止するには

MDの❚❚ボタンを押します。もう一度押すと一時停止したところから録音が始まります。曲番は次の曲番に移ります。

曲番を好きなところにつけたいときは

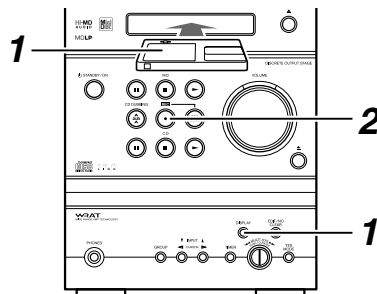
録音中に曲番をつけたいところで●RECボタンを押します。ただしボタンを押す間隔が短い（約4秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

録音する

オンキヨー製品から録音する（シンクロ録音）

- オンキヨー製の外部機器からの録音に便利です。
- 本機のCDからMDへ選曲しながら録音するにも便利です。

別売のオンキヨー製カセットテープデッキまたはCDレコーダーを本機に接続すると、以下のような操作ができます。
- CDからカセットテープやCDレコーダーへのシンクロ録音
- MDからカセットテープやCDレコーダーへのシンクロ録音
- カセットテープやCDレコーダーからMDへのシンクロ録音

CDやMDからカセットテープへのシンクロ録音については、カセットテープデッキ側の録音レベルを調節する必要があります。詳しくはカセットテープデッキの取扱説明書をご覧ください。
CDレコーダーへの録音方法は、CDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

ここではカセットテープデッキから本機のMDにシンクロ録音する手順を説明します。

1

DISPLAY

録音するソース（接続したカセットデッキのテープ）とMDをセットする

MDの録音可能な残り時間を確認するには

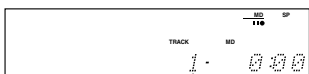
入力をMDにして、DISPLAYボタンを（くり返し）押してください。

DISC REMAIN

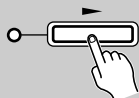
！ヒント

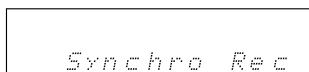
録音モードを切り換えるには、REC MODEボタンを押します。（☞44ページ）

2

●RECボタンを押して、録音待機状態にする

MDグループ録音設定が「オン」になっていると、録音開始時に新しいグループを作成して録音するため、1曲目と表示されます。

3

（カセットテープデッキ側）

録音するソース(接続したカセットテープ)を再生する

Synchro Rec

録音が始まります。

録音モード

シンクロ録音を中断するには

再生しているソース（接続しているカセットテープ）を停止すると、MDは録音待機状態になります。

録音停止後、TOC表示が点滅し、録音した情報を書込みます。90秒程度かかることがあります。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体またはリモコンのMD▶ボタンを押します。
録音を始めたところから再生が始まります。

一時停止して選曲する

再生しているソースを一時停止または停止すると、MDも録音待機状態となります。選曲して再度再生すると、MDの録音が始まります。
ただし、MDの■ボタンを押すとMDは停止しますが、カセットテープデッキは再生を続けます。

曲番をすきなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところで●RECボタンを押します。ただし、ボタンを押す間隔が短い（約4秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

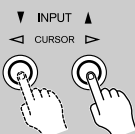
外部機器からMDに録音する

本機と接続した外部機器からMDに録音します。

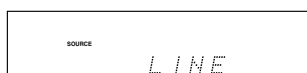
デジタル録音について
FR-B8にはサンプリング・レート・コンバーターが搭載されていますので、CD（44.1kHz）以外の、デジタル外部機器（DATや衛星放送など）からのデジタル信号（32kHzや48kHz）も録音することができます。
デジタル録音されたMDやCD-RをMDにデジタル録音することはできません。

1

MDをセットする

2

▼ INPUT ▲
◁ CURSOR ▷

INPUT▲/▼ボタンを（くり返し）押して、録音する外部機器を選ぶ

CD-R（またはVIDEO）、TAPE、LINE、DIGITAL（FR-B8のみ）のいずれかを選びます。

！ヒント

名称を変えると、その名称が表示されます。（☞73ページ）
録音モードを切り換えるには、REC MODEボタンを押します。（☞44ページ）

3

●RECボタンを押して、録音待機状態にする

！ヒント

外部デジタル入力の場合、「D.In Unlock」が表示されたときや、DIGITAL表示が点滅しているときは、デジタル端子接続がされていないか、外部機器の電源が入っていません。

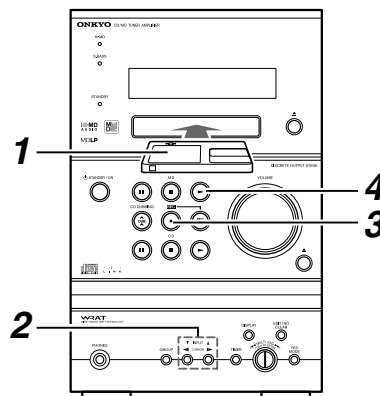
4

（MD側）

MDの▶ボタンを押して、録音を始める

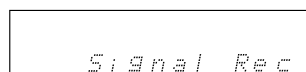
5

外部機器の再生を始める

MDの最後まで録音すると自動的に停止します。
途中で止めるときは、MDの■ボタンを押します。

シグナルシンクロ録音をする

シグナルシンクロ録音とは、外部の入力信号が入ってきた時点で自動的にMD録音を開始する機能です。

❶左項の手順*1*〜*3*を行う
通常の録音待機状態になっています。

❷●RECボタンを押す

Signal Rec

「Signal Rec」が表示され、シグナルシンクロ録音待機状態となります（「Signal Wait」点滅）。

❸外部機器の再生を始める
外部機器からの信号が入ってくると自動的に録音が始まります。（☞左項の手順 ***5***を行う必要はありません。）

！ヒント

本機のCDとのシグナルシンクロ録音をすることもできます。

録音レベルを調節するときは

☞46ページの同項目。

レベルシンクを切り換えるには

☞47ページの同項目。

曲番をすきなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところで●RECボタンを押します。ただし、ボタンを押す間隔が短い（4秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

録音を一時停止するときは

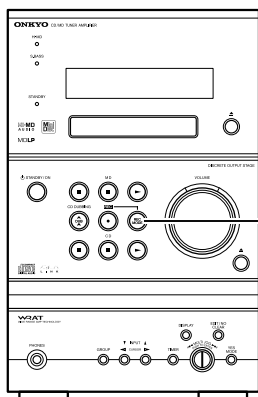
MDの❚❚ボタンを押します。録音を再開するときは、同じボタンをもう一度押します。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体またはリモコンのMD▶ボタンを押します。録音を始めたところから再生が始まります。

録音の設定

録音モードを切り換える　MDが停止中

録音を開始する前に設定します。

REC MODEボタンを押すたびに、以下の順で録音モードが切り換わります

録音モードによって録音できる時間が異なります。
1曲ずつ設定できます。

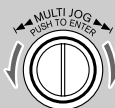
MDモード
- SP：通常のステレオ録音モードです。ディスクに記載されている時間分のステレオ録音ができます。
- LP2：通常のステレオ録音を1/2に圧縮して録音します。録音可能時間は「SP」の2倍になります。
- LP4：通常のステレオ録音を1/4に圧縮して録音します。録音可能時間は「SP」の4倍になります。
- Mono：モノラル録音モードです。録音可能時間は「SP」の2倍になります。

Hi-MDモード
- PCM：非圧縮の録音モードです。
- Hi-SP：Hi-MDの通常のステレオ録音モードです。
- Hi-LP：Hi-MDのステレオ長時間録音モードです。

ご注意
- 「LP2」、「LP4」の各モードで録音したディスクは、LP2、LP4モードの搭載機器以外では再生できません。
  また、「LP2」、「LP4」モードで録音したディスクは、SPモード録音と比べて多少音質が異なります。
- 「PCM」、「Hi-SP」、「Hi-LP」で録音したディスクは、Hi-MD対応の機器以外では再生できません。また、モードによって多少音質が異なります。

MDグループ録音設定　入力がMDで停止中

録音を開始する前に設定します。
録音時、複数の曲をひとまとまりのグループにして録音することができます。（トラック指定CDダビング時は1曲ずつダビングするため、グループになりません。）

1

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「Group Rec?」を表示させる

Group Rec?

2

MULTI JOGダイヤルを押す

On → Off?

現在の設定が表示されます。この場合は「On→Off？」でグループ録音モードを解除しますか？の意味です。
- On：グループ録音モードが働きます。複数の曲をひとまとまりにして録音します。
- Off：グループ録音モードは働きません。

3

MULTI JOGダイヤルを押して確定する

この設定を途中で止めたいときは、EDIT/**NO**/CLEARボタンを押します。
- この設定でCDダビングや録音をすると、ひとまとまりのグループにして録音します。シンクロ録音やシグナルシンクロ録音では、録音を開始してからMDの■ボタンを押すまでグループにして録音します。

！ヒント
- 録音中にGROUPボタンを押すと、現在の設定が表示されます。
- リモコンの**EDIT**/NO/CLEARボタン、⏮/⏭ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

MDグループ機能については、48ページをご覧ください。

フェードアウトダビング設定　入力がMDで停止中

録音を開始する前に設定します。

この機能を「On」にして、CDダビング、トラック指定CDダビングをすると、ディスクがいっぱいになって最後まで録音されない曲を途中でフェードアウト（音量を徐々に小さくする）します。（CD倍速ダビング時はできません。）

1 EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「Fade Dub?」を表示させる

Fade Dub?

2 MULTI JOGダイヤルを押す

Off → On?

現在の設定が表示されます。この場合は「Off→On？」でフェードアウトモードにしますか？の意味です。

3 MULTI JOGダイヤルを押して確定する

この設定を途中で止めたいときは、EDIT/**NO**/CLEARボタンを押します。

- 「On」の設定でCDダビング、トラック指定CDダビングをすると、フェードアウトダビングになります。

！ヒント

- CDダビング中にCD DUBBINGボタンを押すと、現在の設定が表示されます。
- リモコンの**EDIT**/NO/CLEARボタン、⏮/⏭ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

DLAリンク設定　入力がCDで停止中

DLAリンクとは、CDダビング時に自動で録音レベルを調整する機能です。クラッシックなど小さな音が多く含まれている楽曲は、再生するときに音量を調整しなければならないことがあります。再生するときに同じボリューム位置でお楽しみいただけるよう、CDダビングをする前に高速でピークサーチを行い、録音レベルを調整しています。

CDの録音データを全く圧縮しないPCMモードなどで、CDの音量レベルそのままでCDダビングをしたい場合は、DLAリンク設定を「オフ」にしてからCDダビングをします。「オフ」にするとCDと同じレベルで録音されます。

1 EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「DLA Mode?」を表示させる

DLA Mode?

2 MULTI JOGダイヤルを押す

On → Off?

現在の設定が表示されます。この場合は「On→Off？」でDLAリンクを解除しますか？の意味です。

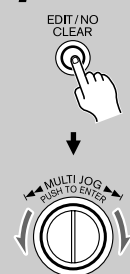
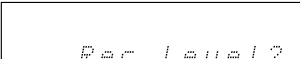
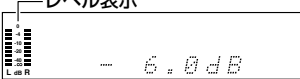
3 MULTI JOGダイヤルを押して確定する

この設定を途中で止めたいときは、EDIT/**NO**/CLEARボタンを押します。

- 「On」の設定でCDダビング、トラック指定CDダビングをすると、DLAリンクが働きます。CD倍速ダビング時は「On」でもDLAリンクは働きません。

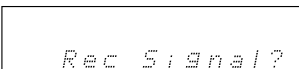
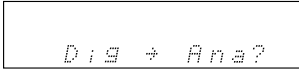
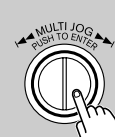
！ヒント

リモコンの**EDIT**/NO/CLEARボタン、⏮/⏭ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

録音の設定

録音レベルを調整する

録音レベルが適当でないときに録音レベルを調整します。シンクロ録音、シグナルシンクロ録音時に調整できます。

録音するソースを再生中、●RECボタンを押して録音待機中に以下の操作をします。

録音レベルの調整はCD(デジタル)、CD(アナログ)、チューナー(AM/FM)、CD-R(FR-B7の場合はVIDEO)、TAPE、LINE、DIGITALでそれぞれ別々に設定することができます。

- ここで調整したレベルは記憶され、次回録音するときも、同じレベルで録音されます。

1 **EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Rec Level?」(録音レベル)を表示させる**

Rec Level?

2 **MULTI JOGダイヤルを押す**

3 **MULTI JOGダイヤルを回して録音レベル(Rec Level)を調節する**

調節できる範囲は－∞dBから＋18.0dBです。
－12.5dBから＋18.0dBの範囲では0.5dB間隔で、－12.5dBから－30.0dBは2.5dB間隔、－30dBから－60dBは5.0dB間隔で調整できます。

- アナログ録音をするときは、入力レベルが一番高いときに、レベル表示の－4dBが時々点灯するように調整します。

4 **MULTI JOGダイヤルを押す**

「Complete」が表示され、調整が完了します。

！ヒント

リモコンのEDIT/NO/CLEARボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

CDからMDへのデジタル入力録音/アナログ入力録音を選ぶ

入力がCDで停止中

MDへのシンクロ録音、シグナルシンクロ録音時に有効です。デジタル録音されたCD-RをMDに録音するときは、アナログ入力録音を選んでください。ディスクを入れてから設定します。

1 **EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Rec Signal?」を表示させる**

Rec Signal?

！ヒント

CD表示のときに"DIGITAL"が点灯している場合は、現在の設定はデジタル入力録音となっています。点灯していない場合はアナログ入力録音です。

2 **MULTI JOGダイヤルを押す**

Dig → Ana?

現在の設定が表示されます。この場合は「Dig→Ana?」でアナログ入力録音にしますか?の意味です。

3 **MULTI JOGダイヤルを押して確定する**

この設定を途中で止めたいときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

ご注意

- CD DUBBINGボタンを押すと、設定がデジタルに戻りますので、アナログ録音をするときは、CD DUBBINGボタンを操作しないでください。
- CDを取り出したときも、設定がデジタルに戻ります。

！ヒント

リモコンのEDIT/NO/CLEARボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

曲番をつける–レベルシンクを切り換える

入力がMDで停止中

- レベルシンクとは、入力レベルの立ち上がりで自動的に曲番をつける機能です。シンクロ録音、シグナルシンクロ録音時レベルシンクがオンになっていると録音中自動的に曲番がつきます。（ただし無音部が短すぎるとつかないことがあります。）
- CDのデジタル録音のときは、レベルシンクのオン/オフに関係なく自動で曲番がつきます。
- レベルシンクがオフのとき、CDなどのデジタル録音以外では、曲番がつきません。好きなところで●RECボタンを押して曲番をつけてください。
- レベルシンクがオンになっていると、入力信号の無音部が60秒以上続いた場合、自動的に録音を停止します。
- L.SYNC表示が点灯しているときは、レベルシンクがオンの状態です。（オフにするとL.SYNC表示は消えます。）
- ラジオやレコードを録音するときで、曲番がつきすぎる場合は、「Off」にしてください。

1

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Level Sync?」を表示する

Level Sync?

2

MULTI JOGダイヤルを押す

「On→Off?」、または「Off→On?」が表示されます。

3

MULTI JOGダイヤルを押す

オフになったときは「LevelSyncOff」が、オンになったときは「LevelSyncOn」が表示されます。

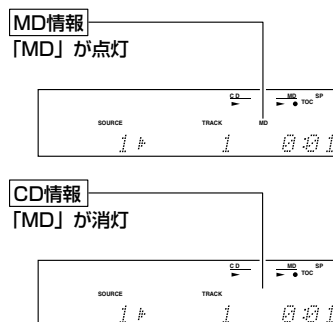
この設定を途中で止めたいときは、EDIT/**NO**/CLEARボタンを押します。

！ヒント

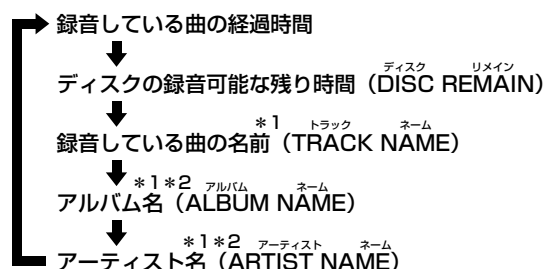
リモコンの**EDIT**/NO/CLEARボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

録音中に表示を切り換える

CDからMDに録音中、表示情報を切り換えることができます。

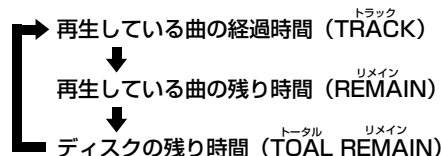
- INPUT▲/▼ボタンを押すと、CDとMDの表示切り換えができます。

- CD/MD表示切り換え後、DISPLAYボタンを押すと、以下のように切り換わります。

MD情報のとき

録音している曲の経過時間
↓
ディスクの録音可能な残り時間（DISC REMAIN）
↓
録音している曲の名前＊1（TRACK NAME）
↓
アルバム名＊1＊2（ALBUM NAME）
↓
アーティスト名＊1＊2（ARTIST NAME）

※1 名前がついていないときは表示されません。☞「MD、登録した放送局に名前をつける」（62ページ）

※2 ディスクがHi-MDモードのときのみ表示されます。

CD情報のとき

再生している曲の経過時間（TRACK）
↓
再生している曲の残り時間（REMAIN）
↓
ディスクの残り時間（TOAL REMAIN）

MDグループ機能

1枚のMDに入っている曲を好みのグループに分けることができます。Hi-MDやMDLPなどを使用して、たくさんの曲が入っているディスクで使用すると便利です。

- グループにできるのは連続した曲です。（例：1曲目～15曲目）
- あとからグループに曲を追加することができます。
- 1つの曲を複数のグループに入れることはできません。
- 本機でグループを作成したMDをグループ機能が備わっていない機器で再生するとディスクネームが正しく表示されません。
- グループを作成したMDをグループ機能が備わっていない機器で編集しないでください。

曲番について

グループの中で1曲目から順番につきます。グループに入っていない曲は総曲数の表示になります。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	11	12
グループ1					グループ2						

グループの中の曲を選ぶ 入力がMDで停止中

■本体で選ぶ

1 GROUP（グループ）ボタンを押す

2 MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回してグループを選ぶ

GROUP TRACK GROUP
1 15 71 00

グループに含まれる曲数　グループ総再生時間

3 GROUPボタンを押す

4 MULTI JOGダイヤルを回して、グループの中の曲を選ぶ

■リモコンで選ぶ

1 GROUPボタンを押す

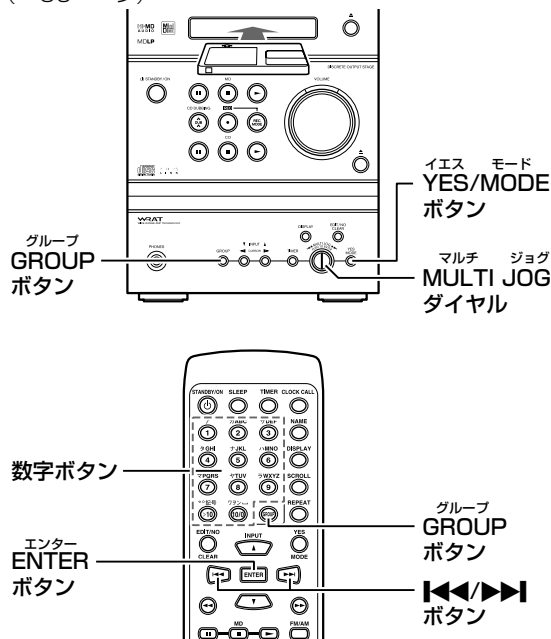
2 ⏮/⏭ボタンでグループを選ぶ

3 GROUPボタンを押す

グループ番号の点滅が止まります。

4 ⏮/⏭ボタンでグループの中の曲を選ぶ

MDグループを再生する

ディスクにグループを作成しておく必要があります。
(☞50ページ)

MDグループ再生　入力がMDで停止中

選択したグループから最後までを再生します。

1

GROUPボタンを押す

2

MULTI JOGダイヤルを回して、再生したいグループを選ぶ

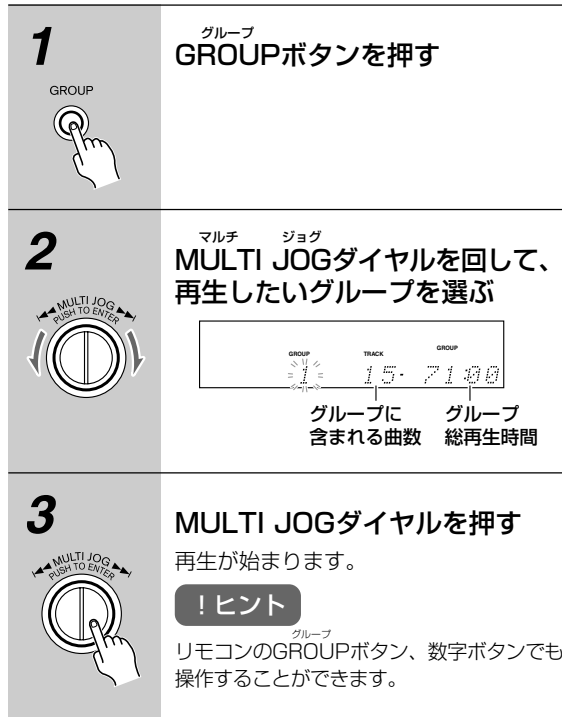
グループに含まれる曲数　グループ総再生時間

3

MULTI JOGダイヤルを押す

再生が始まります。

!ヒント

リモコンのGROUPボタン、数字ボタンでも操作することができます。

MD1グループ再生　入力がMDで停止中

選択したグループのみ再生します。

1

GROUPボタンを押す

2

MULTI JOGダイヤルを回して、グループを選ぶ

グループに含まれる曲数　グループ総再生時間

3

YES/MODEボタンを(くり返し)押して、「1GR」モードを選ぶ

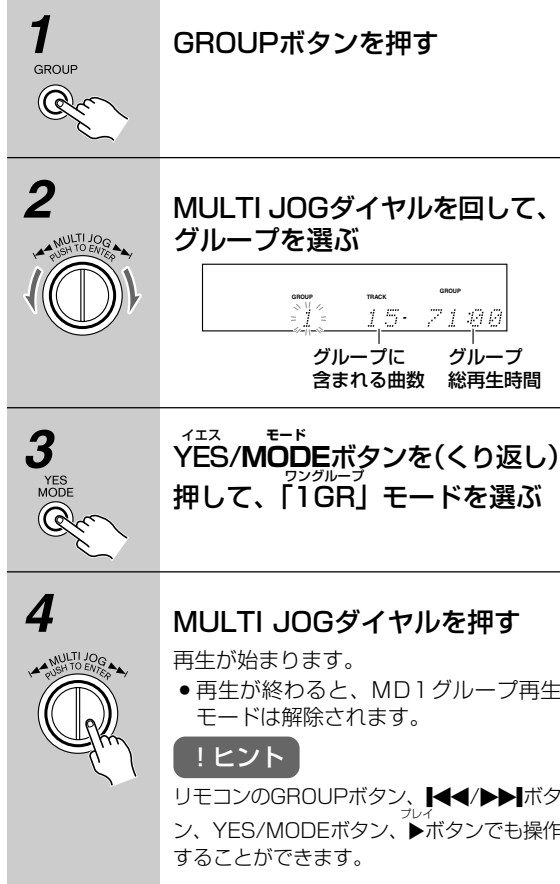
4

MULTI JOGダイヤルを押す

再生が始まります。

- 再生が終わると、MD1グループ再生モードは解除されます。

!ヒント

リモコンのGROUPボタン、⏮/⏭ボタン、YES/MODEボタン、▶ボタンでも操作することができます。

MDグループスキップ

再生中、グループごとにスキップをすることができます。

1

再生中にGROUPボタンを押す

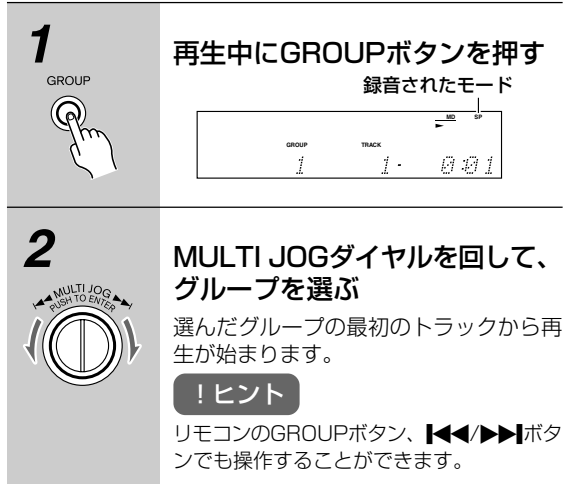
録音されたモード

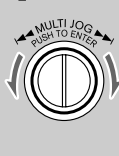
2

MULTI JOGダイヤルを回して、グループを選ぶ

選んだグループの最初のトラックから再生が始まります。

!ヒント

リモコンのGROUPボタン、⏮/⏭ボタンでも操作することができます。

ご注意

- MD1グループ再生中は、操作できません。
- 「1GR」、「MEM」、「RDM」インジケーターが点灯しているときは、操作できません。

MDグループ機能

MDグループを作成/解除する

1GR（ワングループ）、MEM（メモリー）、RDM（ランダム）が点灯していると編集できません。通常再生モード（NORMAL（ノーマル）表示）にしてください。

グループセット　入力がMDで停止中

グループに入っていない複数の曲をまとめて新規のグループに入れます。

1 MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回して、グループに入れる最初の曲を選ぶ

2 EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「○○Tr G. Set?（トラックグループ セット）」を表示させる

3 MULTI JOGダイヤルを押す

4 MULTI JOGダイヤルを回して、グループに入れる最後の曲を選ぶ

！ヒント

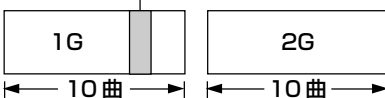
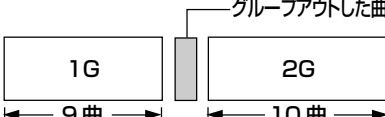
連続した曲（Tr）のみの選択になります。離れた曲（Tr）は、Move（ムーブ）（☞57ページ）やグループイン（☞50ページ）機能を使用してください。

5 MULTI JOGダイヤルを押す

グループが作成され、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示された後、通常表示に戻ります。

！ヒント

リモコンのEDIT/NO/CLEARボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、ENTER（エンター）ボタンでも操作することができます。

グループイン　入力がMDで停止中

グループに入っていない曲を、すでにあるグループに入れます。

1 MULTI JOGダイヤルを回して、グループに入れる曲を選ぶ

2 EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「○○Tr G. In?（トラッグループ イン）」を表示させる

TRACK
10Tr Gr.In?

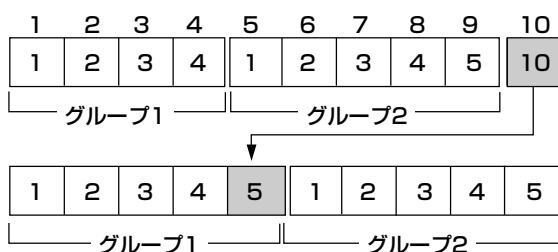
3 MULTI JOGダイヤルを押す

4 MULTI JOGダイヤルを回して、どこのグループに入れるかを選ぶ

5 MULTI JOGダイヤルを押す

選んだグループの最後に入り、「Complete」（完了）が表示された後、通常表示に戻ります。

！ヒント

リモコンのEDIT/NO/CLEARボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

グループアウト 入力がMDで停止中

すでにグループに入っている曲をグループから外します。

1

MULTI JOGダイヤルを回して、グループから外す曲を選ぶ

2

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「○○Tr G.Out?」を表示させる

3Tr G.Out?

3

MULTI JOGダイヤルを押す

選んだ曲がグループから外れ、「Complete」（完了）が表示された後、通常表示に戻ります。

！ヒント

リモコンの**EDIT**/NO/CLEARボタン、**|◀◀**/**▶▶|**ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

選択グループの解除 入力がMDで停止中

選んだグループのみ解除します。

1

GROUPボタンを押す

2

MULTI JOGダイヤルを回して、解除するグループを選ぶ

GROUP TRACK GROUP
1 5 29:19

3

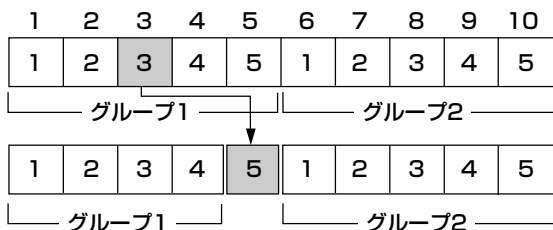
EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Release?」を表示させる

4

MULTI JOGダイヤルを押す

選んだグループのみ解除され、「Complete」（完了）が表示された後、元の表示に戻ります。

！ヒント

リモコンの**EDIT**/NO/CLEARボタン、**|◀◀**/**▶▶|**ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

MDグループ機能

MDグループを編集/消去する

グループを移動してグループを入れ換える、2つのグループをまとめて1つにする、グループ内の曲を消去する、の3つの基本機能があります。

編集/消去機能の紹介

グループを消去する－G.Erase
指定したグループに含まれる曲を全て消去します。

グループを移動する－G.Move
グループを移動する機能です。

グループをつなぐ－G.Combine
前のグループとつなぎ1つのグループにまとめる機能です。

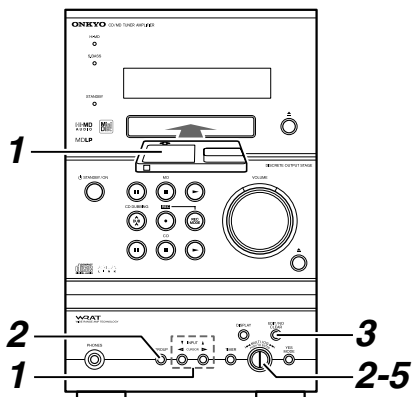
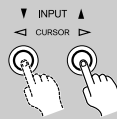
編集の組み合わせ

離れた2つのグループをつなぐ
（G.Move＋G.Combine）
G.Combineは選んだグループと直前のグループをつなぐ機能です。離れた2つのグループをつなぐときは、G.Move機能でグループを移動したあとに、G.Combine機能を使います。

編集/消去についてのご注意

- 編集/消去の情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるときなどにMDの目次部分（TOC）に書き込まれます。TOC表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。
- MEMまたは、RDM、1GR表示が点灯しているときは編集できません。通常の再生モードにしてください。

選択したグループに含まれる曲を全て消す－ G.Erase 入力がMDで停止中

途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。

1 MDをセットして、入力をMDにする

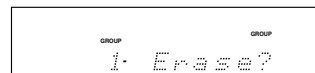
2 GROUPボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して消すグループを選ぶ

GROUP TRACK GROUP
1 15· 71:00

グループに含まれる曲数　グループ総再生時間

選択したグループが点滅します。

3 EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Erase?」を表示する

GROUP GROUP
1· Erase?

4 MULTI JOGダイヤルを押す

再確認のため「Erase??」（本当に消していいですか？）が表示されます。

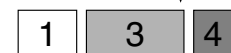
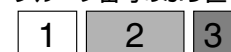
5 MULTI JOGダイヤルを押す

グループ内の曲が消され、「Complete」（完了）が表示された後、元の表示に戻ります。
グループ番号は新たにふり直されます。

グループの削除

グループ番号のふり直し

1 2 3

！ヒント

リモコンのGROUPボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、EDIT/NO/CLEARボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

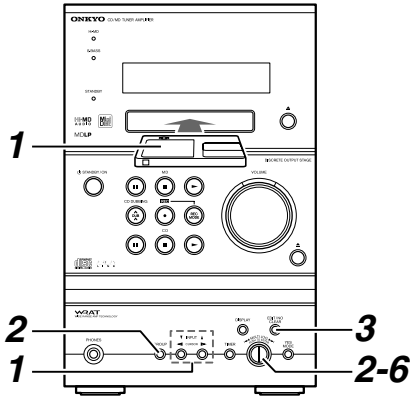
グループを移動する－G.Move

入力がMDで停止中

途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。

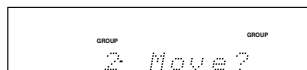
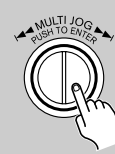
1

MDをセットして、入力をMDにする

2

GROUPボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して移動するグループを選ぶ

3

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Move?」を表示する

4

MULTI JOGダイヤルを押す

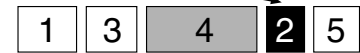
移動するグループ番号と移動先のグループ番号が表示されます。

5

必要なときは、MULTI JOGダイヤルを回して移動先のグループ番号を変える

6

MULTI JOGダイヤルを押す

指定した曲が移動し、「Complete」(完了)が表示された後、元の表示に戻ります。グループ番号は新たにふり直されます。

！ヒント

リモコンのGROUPボタン、⏮/⏭ボタン、EDIT/NO/CLEARボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

MDグループ機能

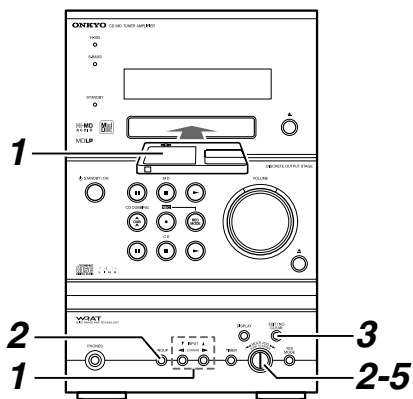
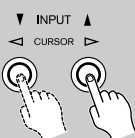
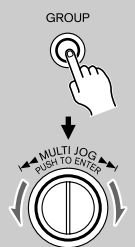
グループをつなぐ －G.Combine

入力がMDで停止中

- 前のグループにグループ名がついている場合、そのグループ名がCombine後のグループ名になります。
- 途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。

1

MDをセットして、入力をMDにする

2

GROUPボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回してつなぐグループを選ぶ

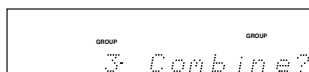
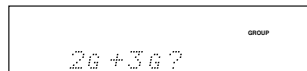
選んだグループが、1つ前のグループとつながることになります。したがって、最初のグループは選ぶことはできません。

3

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「Combine?」を表示する

4

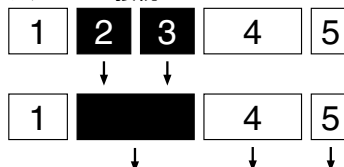
MULTI JOGダイヤルを押す

GROUP
2G +3G?

選んだグループの番号と、その直前のグループ番号が表示されます。

5

MULTI JOGダイヤルを押す

グループがつながり、「Complete」(完了)が表示された後、元の表示に戻ります。
グループ番号は新たにふり直されます。

！ヒント

リモコンの**EDIT**/NO/CLEARボタン、⏮/⏭ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

MDを編集/消去する

曲を移動して曲番を入れ換える、1つの曲を2つに分ける、2つの曲をまとめて1つにする、曲を消去する、MDの録音すべてを消去する、の5つの基本機能があります。

編集/消去機能の紹介

全曲消去する－All Erase（オール イレーズ）
MDに記録されているすべての曲とタイトルを消去します。(BLANK DISC（ブランク ディスク）になります。)

曲を消去する－Erase（イレーズ）
1曲選んで消去する機能です。

曲を移動する－Move（ムーブ）
1曲選んで移動する機能です。

曲を分ける－Divide（ディバイド）
1曲を2つに分ける機能です。

曲をつなぐ－Combine（コンバイン）
1曲選び、その1つ前の曲とつないで1曲にまとめる機能です。

編集/消去機能の組み合わせ

曲の一部を消去する
(Divide ＋ Erase)
消去したい部分をDivide機能で（またはこの機能をくり返して）分けてから、Erase機能で消去します。

離れた2つの曲をつなぐ
(Move ＋ Combine)
Combineは、選んだ曲と直前の曲をつなぐ機能です。離れた2つの曲をつなぐときは、Move機能で曲を移動したあとに、Combine機能を使います。

曲をつなぐ－Combine（コンバイン）についてのご注意

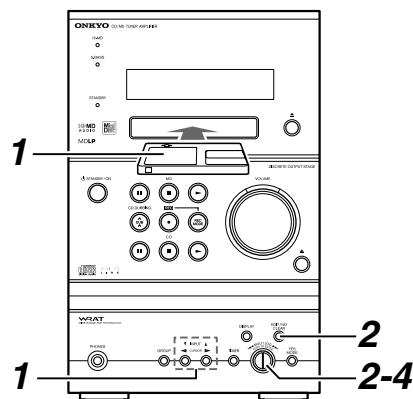
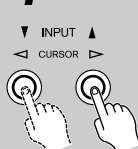
Combineは同じ録音モードで録音された曲のみ可能です。
例：Mono（モノ）モードで録音した曲とLP2モードで録音した曲をつなぐことはできません。
デジタル録音で録音した曲と、アナログ録音で録音した曲をつなぐことはできません。

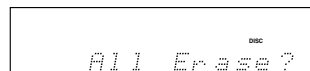
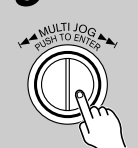
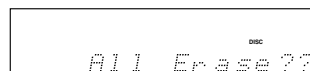
編集／消去についてのご注意

- 編集/消去の情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるときなどにMDの目次部分（TOC（トック））に書き込まれます。TOC表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。
- MEM（メモリー）または、RDM（ランダム）、1GR（グループ）表示が点灯しているときは編集できません。通常の再生モード（NORMAL（ノーマル）表示）にしてください。
- グループ作成されたMDを編集すると、グループ情報が変わることがあります。

全曲消去する－All Erase（オール イレーズ）

入力がMDで停止中

途中で中止するときは、MDの■（ストップ）ボタンを押します。

1 MDをセットして、入力をMDにする

2 EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押し、MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回して「All Erase?（オール イレーズ?）」（MDの録音をすべて消しますか?）を表示する

3 MULTI JOGダイヤルを押す

再確認のため、「All Erase??（オール イレーズ??）」（本当に消去していいですか？）が表示されます。

4 MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete（コンプリート）」（完了）が表示され、「MD Blanc（ブランク） Disc（ディスク）」が表示されます。

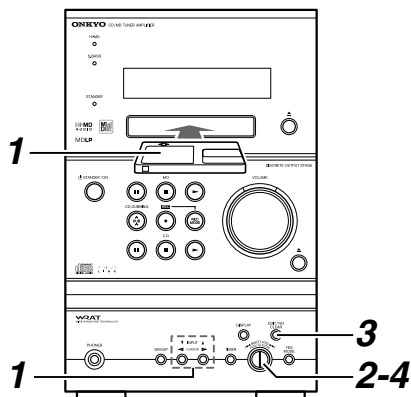
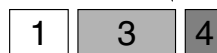
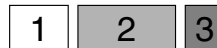
！ヒント

リモコンの**EDIT**/NO/CLEARボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、ENTER（エンター）ボタンでも操作することができます。

1曲選んで消す－Erase（イレーズ）

入力がMDで停止中/一時停止中

途中で中止するときは、MDの■（ストップ）ボタンを押します。

！ヒント

リモコンの⏮/⏭ボタン、EDIT/NO/CLEARボタン、ENTER（エンター）ボタンでも操作することができます。

1

MDをセットして、入力をMDにする

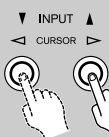
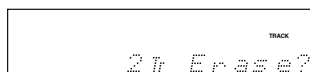
2

MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回して消す曲を選ぶ

3

EDIT/NO
CLEAR

EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Erase?（イレーズ?）」を表示する

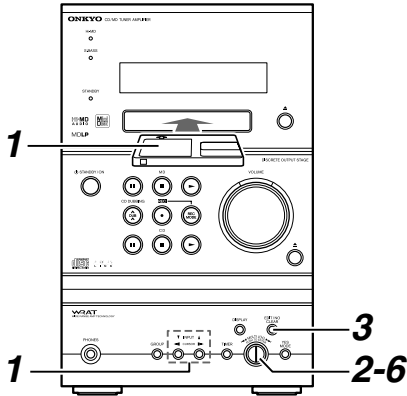
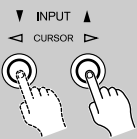
4

MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete（コンプリート）」（完了）が表示され、通常の表示に戻ります。
曲番は新たにふり直されます。

曲を移動する－Move

入力がMDで停止中/一時停止中

途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。

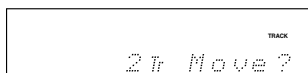
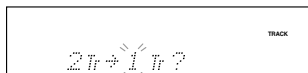
1
MDをセットして、入力をMDにする

2
MULTI JOGダイヤルを回して移動する曲を選ぶ

GROUP TRACK
1 2· 4'27

3
EDIT/NO CLEAR

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Move?」を表示する

4
MULTI JOGダイヤルを押す

TRACK
2Tr→1Tr?

移動する曲番と移動先の曲番が表示されます。

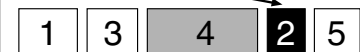
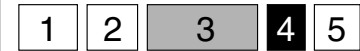
5
必要なときは、MULTI JOGダイヤルを回して移動先の曲番を変える

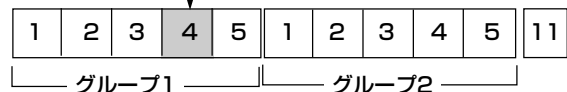
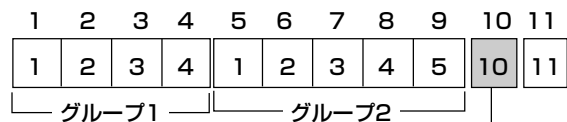
6
MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」(完了) が表示された後、通常の表示に戻ります。
曲番は新たにふり直されます。

- グループに入っている曲はグループ内でしか移動できません。他のグループに移動したい場合は、一度グループアウト機能でグループから出してから、新しいグループに移動します。
- グループに入っていない曲はグループの中に移動することができます。
- 曲を移動すると、曲順が入れ換わります。

曲の移動

!ヒント

リモコンの|◀◀/▶▶|ボタン、EDIT/NO/CLEARボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

グループのあるMD

グループ1の4Trになり、元の4Trは5Trになります。

MDを編集/消去する

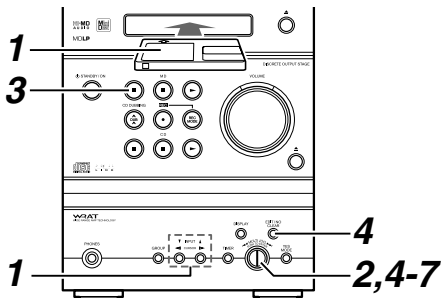
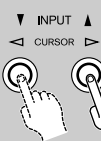
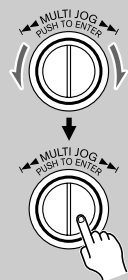
曲を分ける−Divide

入力がMDで再生中/一時停止中

- 曲名がついているとき（☞62ページ）は、前の曲にのみ名前が残ります。
- 途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。

1

MDをセットして、入力をMDにする

2

MULTI JOGダイヤルを回してから押し、分ける曲を再生する

3

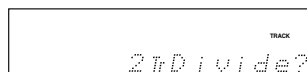
分けたいところでMDの❚❚ボタンを押す

一時停止になります。
リモコンの◀◀/▶▶ボタンで早戻し/早送りができます。

4

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Divide?」を表示する

TRACK
2 Tr Divide?

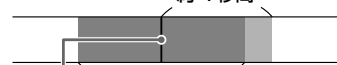
5

MULTI JOGダイヤルを押す

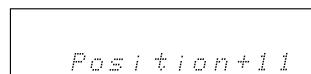
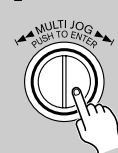
Rehearsal 再生
約４秒間
分かれる位置

「Rehearsal」（確認再生中）と「Position OK?」（分けてもいいですか?）が交互に表示され、曲が分かれる位置より約4秒間がくり返し再生されます。

6

音声を聞きながらMULTI JOGダイヤルを回し、分ける位置の微調整をする

その曲内で数値−45～+45（REC MODEがSP時 ± 約3秒）の間で調整できます。

分かれる位置が微調整で前後に移動します。

Position+11

7

MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」（完了）が表示された後、分けられた曲の再生が始まります。
曲番は新たにふり直されます。

！ヒント

リモコンの数字ボタン、EDIT/NO/CLEARボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

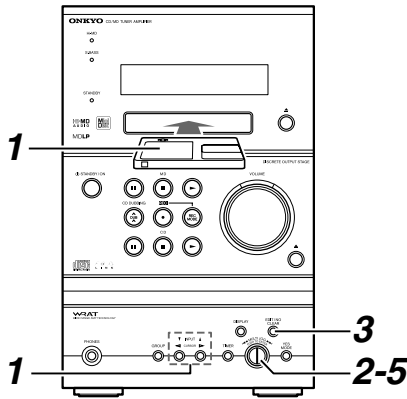
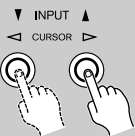
曲をつなぐ ーCombine(コンバイン)

入力がMDで停止中/再生中/一時停止中

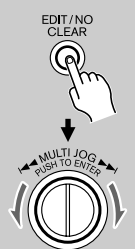
- 前の曲に曲名がついている場合、その曲名がCombine後の曲名になります。
- 途中で中止するときは、MDの■(ストップ)ボタンを押します。

1

MDをセットして、入力をMDにする

2

MULTI(マルチ) JOG(ジョグ)ダイヤルを回してつなぐ曲を選ぶ

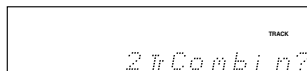
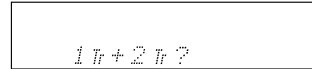
選んだ曲が、1つ前の曲とつながることになります。したがって、1曲目は選ぶことはできません。

3

EDIT(エディット)/NO(ノー)/CLEAR(クリア)ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Combin?(コンバイン)」を表示する

TRACK
2 Tr Combin?

4

MULTI JOGダイヤルを押す

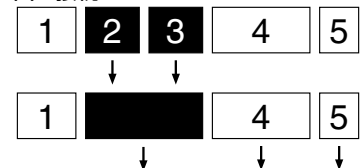
1 Tr+2 Tr?

選んだ曲の番号と、その直前の曲番が表示されます。

5

MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete(コンプリート)」(完了)が表示され、通常の表示に戻ります。
曲番は新たにふり直されます。

曲の接続

!ヒント

リモコンの⏮/⏭ボタン、EDIT/NO/CLEARボタン、ENTER(エンター)ボタンでも操作することができます。

ご注意

- 異なるグループに入っている曲とつなぐことはできません。たとえば、1グループの最後の曲と2グループの最初の曲をつなぐことはできません。
- 異なる録音モードで録音した曲はつなぐことはできません。また、デジタル録音した曲とアナログ録音した曲をつなぐこともできません。
- 下表のように1曲の時間が短いと、曲をつなげないことがあります。

MDモード	曲の長さ
SPモード LP2/Monoモード LP4モード	12秒以下 24秒以下 48秒以下
Hi-MDモード	
PCMモード Hi-SPモード Hi-LPモード	9秒以下 8秒以下 32秒以下

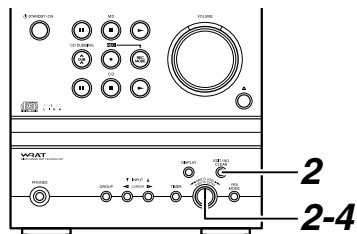
FM/AMの登録した放送局を編集する

削除とコピーの2つの基本機能を使って、不要なチャンネルの削除、あるチャンネルに登録された放送局の別チャンネルへのコピー、チャンネル番号の変更などができます。

編集のヒント

チャンネル番号を変更するには

コピーと削除機能を使います。
例えば、FMで4チャンネルに登録された放送局を6チャンネル（空きチャンネル）に変えるときは、
❶ 4チャンネルを6チャンネルにコピーする。
❷ 4チャンネルを削除する。
という手順で行うことができます。

登録した放送局を削除する

1

FMまたはAMの、削除するチャンネルを呼び出す

例）4CH（チャンネル）、FM80.00MHzを選んだとき

FM 80.00MHz 4

2

EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押し、MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回し「Preset（プリセット） Erase?（イレーズ?）」を表示する

PresetErase?

3

MULTI JOGダイヤルを押す

再確認のメッセージが表示されます。

Erase OK? 4

削除をやめるときは、EDIT/**NO**/CLEARボタンを押します。

4

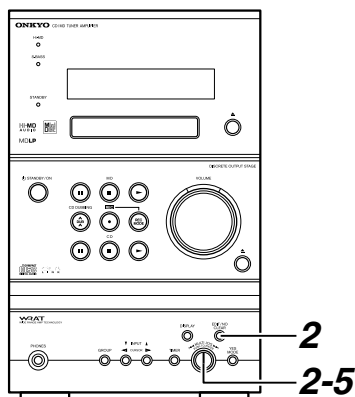
MULTI JOGダイヤルを押す

登録した放送局が削除され、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示された後、通常表示に戻ります。

！ヒント

リモコンの⏮/⏭ボタン、**EDIT**/NO/CLEARボタン、ENTER（エンター）ボタンでも操作することができます。

登録した放送局をコピーする

登録した放送局をコピーすると、放送局につけた名前（☞62ページ）も同時にコピーされます。

1

FMまたはAMの、コピーするチャンネルを呼び出す

例）4CH、FM80.00MHzを選んだとき

FM 80.00MHz 4

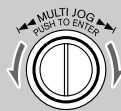
2

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回し「Preset Copy?」を表示する

PresetCopy?

3

MULTI JOGダイヤルを押す

4

MULTI JOGダイヤルを回してコピー先のチャンネルを選ぶ

FM 80.00MHz 6

5

MULTI JOGダイヤル押す

放送局が指定のチャンネルにコピーされ、「Complete」（完了）が表示されます。

「Overwrite?」（書き換えますか?）と表示されたときは

選んだチャンネルは登録済みです。

- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局に書き換えるときは、MULTI JOGダイヤルを押します。
- 書き換えをやめるときは、EDIT/**NO**/CLEARボタンを押します。

リモコンの⏮/⏭ボタン、**EDIT**/NO/CLEARボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

MD、登録した放送局に名前をつける

MDにはディスク名や曲名、FMやAMの登録した放送局にはチャンネル名をアルファベットやカタカナでつけることができます。Hi-MDディスクのときはアーティスト名、アルバム名をつけることができます。

登録した放送局に名前をつける

FMまたはAMのチャンネルを選び、右項または64ページで「文字を入力する」を行います。8文字までの名前がつけられます。

MDにディスク名をつける

❶ MDをセットし、入力をMDにする
❷ 右項または64ページで「文字を入力する」を行う

MDに曲名をつける

❶ MDをセットし、入力をMDにする
❷ MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回し、名前をつけたい曲を選ぶ
❸ 右項または64ページで「文字を入力する」を行う

MDにアルバム名をつける（Hi-MDのときのみ）

❶ MDをセットし、入力をMDにする
❷ MULTI JOGダイヤルを回し、名前をつけたい曲を選ぶ
❸ DISPLAYボタンを押して、「ALBUM NAME（アルバム ネーム）」を表示する
❹ 右項または64ページで「文字を入力する」を行う

MDにアーティスト名をつける（Hi-MDのときのみ）

❶ MDをセットし、入力をMDにする
❷ MULTI JOGダイヤルを回し、名前をつけたい曲を選ぶ
❸ DISPLAYボタンを押して、「ARTIST NAME（アーティスト ネーム）」を表示する
❹ 右項または64ページで「文字を入力する」を行う

MDにグループ名をつける（グループがあるとき）

❶ MDをセットし、入力をMDにします。
❷ GROUP（グループ）ボタンを押してから、MULTI JOGダイヤルを回して名前をつけたいグループを選ぶ
❸ DISPLAYボタンを押して、「GROUP NAME（グループ ネーム）」を表示する
❹ 右項または64ページで「文字を入力する」を行う

ご注意

- 誤消去防止孔の開いたMDや、再生専用MDには名前はつけられません。（☞76ページ）
- ディスクに名前をつけるときは、曲を選択していないかご確認ください。曲を選択しているときは、MDの■（ストップ）ボタンを押してください。
- 曲に名前をつけたいときは、録音中、再生中にもつけることができます。次の曲に移ってしまうと、文字入力が正しくできない場合があります。グループ名は録音中にはつけられません。
- 録音中、MDに曲名をつける場合は入力をMDに切り換えてから文字を入力してください。

- MEM（メモリー）、RDM（ランダム）、1GR（グループ）の表示が点灯している場合は、ディスク名はつけることができません。
- 名前などの情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるとき、録音停止時などにMDの目次部分（TOC（トック））に書き込まれます。TOC（トック）表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。

本体操作ボタンで文字を入力する

1

EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押し、MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回して「Name（ネーム） In?（イン?）」を表示する

2

MULTI JOGダイヤルを押す

文字入力モードに入ります。

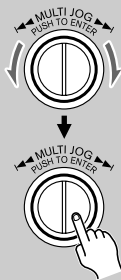
3

DISPLAYボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ

押すたびに、以下の選択ができます。

A（大文字のアルファベット）
↓
a（小文字のアルファベット）
↓
1（数字）
↓
ア（カタカナ）
↓
♪（カンタンネーム）※1

※1 放送局に名前をつけるときには、表示されません。

4

MULTI JOGダイヤルを回して文字を選び、ダイヤルを押して確定する

この手順をくり返して名前を入力します。途中で文字の種類を変える場合は、手順***3*** を行います。

5

入力が終わったら、YES/MODEボタンを押す

「Complete」が表示され、文字入力が完了します。名前の入力を途中でやめるときはEDIT/**NO**/CLEARボタンを2秒以上押します。

入力できる文字

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
_ @ ` < > # ＄ % & * = ; : + － / ( ) ? ! ’ ” , . ␣（空白）（挿入）
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン
ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ ゛ ゜

表示されるカンタンネーム
（放送局に名前をつけるときは表示されません。）
MULTI JOGダイヤルを回して選んでください。

BALLAD	POPS	African	Anthology	Heavy
BLUES	REGGAE	American	Best of␣	Hit Songs
CLASSIC	ROCK	Asian	[ofの後ろには空白(␣)が1文字分入ります。]	Omnibus
DANCE	SOUL	British		Selection
FUSION	TECHNO	Euro	Collection	Special
JAZZ	VOCAL	German	Favorite	Super
LIVE		Japanese	Happy	␣（空白）

MDにつけた名前をコピーする

アーティスト名やアルバム名など、複数の曲に同じ名前をつけるのに便利です。曲にアーティスト名やアルバム名などをつけた後、他の曲にも同じアーティスト名やアルバム名をつけることができます。
コピーできるのは、ディスク名、曲名、アーティスト名、アルバム名、グループ名で、それぞれ最後につけた名前がコピーされます。
ここでは、アーティスト名をコピーする操作を説明します。

❶ **曲にアーティスト名をつける**

❷ **同じアーティスト名をつけたい曲を選び、DISPLAYボタンを押して、「ARTIST NAME」を表示させる**

❸ **EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「Name Copy?」を表示させる**

❹ **MULTI JOGダイヤルを押す**
同じアーティスト名がつきます。

！ヒント

- 手順❷で、ディスク名、アルバム名、曲名、グループ名を表示させると、それぞれの名前がコピーされます。
- リモコンのDISPLAYボタン、**EDIT**/NO/CLEARボタン、⏮/⏭ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

MD、登録した放送局に名前をつける

リモコンで文字を入力する

1

NAME（ネーム）ボタンを押す

！ヒント

62ページを参照して名前をつけたい項目を表示させておきます。リモコンでは⏮/⏭ボタンで曲を選べます。

2

DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ

ボタンを押すたびに文字の種類が切り換わります。SCROLL（スクロール）ボタンを押すと逆順に切り換わります。

アルファベットを入力するには
数字ボタンを押すごとに記載されている文字が切り換わり表示されます。たとえば、（カABC 2）ボタンは押すごとにA→B→C→Aと切り換わりますので、希望の文字を表示させてリモコンのENTER（エンター）ボタンを押してください。

数字を入力するには
数字ボタンを押すと数字が表示されます。

カタカナを入力するには
数字ボタンを押すごとにボタンの上に記載されている文字の行が切り換わります。
たとえば、（ア 1）ボタンは押すごとに「ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ」と切り換わりますので、希望の文字を表示させてリモコンのENTERボタンを押してください。

カンタンネームを入力するには（放送局に名前をつけるときは、表示されません。）
数字ボタンを押すごとにボタンの上のアルファベットが頭文字になるカンタンネームが切り換わり表示されます。たとえば、（サDEF 3）ボタンは押すごとにDANCE（ダンス）→Euro（ユーロ）→Favorite（フェイバリット）→FUSION（フュージョン）などと切り換わりますので、希望のカンタンネームを表示させてリモコンのENTERボタンを押してください。

記号を入力するには
（゛゜記号 >10）ボタンは、押すごとに記載されている記号が切り換わります。（（゛゜記号 >10）ボタンは、␣./＊-,!?&’() （ワヲン␣ 10/0）ボタンはスペースが入力できます。）希望の記号を表示させてリモコンのENTERボタンを押してください。
リモコンの⏮または⏭ボタンを押して文字を選び、リモコンのENTERボタンを押して文字を入力することもできます。

ご注意

リモコンの数字ボタンではすべての記号を入力することはできません。
文字を挿入するときの「▯」や、その他記号の入力は、リモコンの⏮または⏭ボタンを押して選んでください。

3

NAMEボタンを押して入力を終了する

文字を訂正/消去する

文字入力モードになっていないときは、「文字を入力する」（62ページ）の手順 ***1*** と ***2*** を行ってください。

❶ 本体のCURSOR◁/▷ボタンを押して、訂正または消去する文字を点滅させる

❷ ● 訂正するときは、「文字を入力する」（63ページ）の手順 *3*、*4* にしたがって正しい文字を入力する
● 消去するときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押す

ご注意

EDIT/NO/**CLEAR**ボタンを2秒以上押し続けると消去せずに元の表示に戻ります。
続けて文字を挿入する場合は63ページ手順***3***、***4***を、終わるときは手順 ***5***を行います。

！ヒント

リモコンのNAMEボタン、◀◀/▶▶ボタン、数字ボタンでも操作することができます。

文字を挿入する

文字入力モードになっていないときは、「文字を入力する」（62ページ）の手順 ***1*** と ***2*** を行ってください。

❶ 本体のCURSOR◁/▷ボタンを押して、文字を挿入したい場所の後ろの文字を点滅させる

❷ MULTI JOGダイヤルを左に回して「M」を表示し、ダイヤルを押す

❸「文字を入力する」の手順 *3*、*4* にしたがって挿入する文字を入力する

続けて文字を挿入する場合は63ページ手順 ***3***、***4*** を、終るときは手順 ***5*** を行います。

！ヒント

リモコンのNAMEボタン、◀◀/▶▶ボタン、数字ボタン、DISPLAYボタンでも操作することができます。

放送局につけた名前を消去する

❶ 入力をAMまたはFMにする

❷ MULTI JOGダイヤルを回して名前を消去したいプリセットチャンネルを選ぶ

❸ EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Name Erase?」を表示させる

❹ MULTI JOGダイヤルを押す
「Complete」と表示され名前が消去されます。

！ヒント

リモコンのFM/AMボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、**EDIT**/NO/CLEARボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

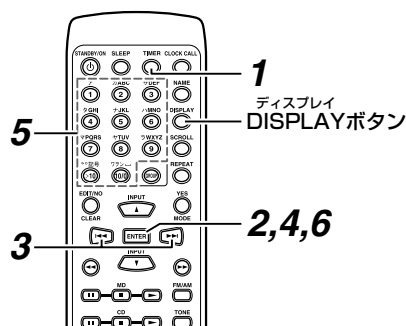
曜日と現在時刻を設定する

お好みにより、12時間（am/pm）表示と24時間表示が選べます。（本書では24時間表示の設定方法で説明しています。）

1

TIMER

TIMERボタンを(くり返し)押して、「Clock」を表示する

2

ENTERボタンを押す

SUN 0:00

曜日入力に入ります。

3

|◀◀/▶▶|ボタンを押して、今日の曜日を選ぶ

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
日	月	火	水	木	金	土

4

ENTERボタンを押して、曜日を確定する

THU 0:00

時間入力に入ります。

5

数字ボタンを押して、時刻を合わせる

数字ボタンで4桁（時、分）をつづけて入力してください。
19：03を入力するときは、1、9、0、3と押します。

24時間表示

am/pm表示のときは、＞10ボタンでamとpmが切り換わります。

6

時報に合わせてENTERボタンを押す

時計が始動し、秒点が点滅を始めます。

！ヒント

本体のTIMERボタン、MULTI JOGダイヤルでも設定することができます。

時計合わせを中断するときは

EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

曜日、時刻を表示させる

リモコンのCLOCK CALLボタンを押します。
再度CLOCK CALLボタンを押すか、表示を切り換えると時刻表示は消えます。
スタンバイ時は、約8秒間表示した後、消灯します。

12時間表示/24時間表示を切り換えるには

時刻表示中にDISPLAYボタンを押します。

STANDBY時の時刻表示あり/なしを切り換えるには

電源が入っているときに、本体のSTANDBY/ONボタンを2秒以上押します。

ご注意

時刻表示を「あり」にすると「なし」のときより待機電力が増えます。

タイマー機能を使う

Sleepタイマー、Onceタイマー、Everyタイマーがあります。

タイマー予約について

タイマー番号の選択

タイマーは4つまで設定することができます。

タイマーの種類

- タイマーPlay（再生）は設定した時間になると選択した機器が再生を始めます。
- タイマーRec（録音）は設定した時間になると選択した機器の録音を始めます。
- タイマーRecは本機のMD、または本機に接続したRI端子付きのオンキヨー製カセットテープデッキに録音します。入力表示を正しく設定してください。

演奏機器の設定

AM、FM、 CD、MDまたは本機に接続しているオンキヨー製カセットテープデッキなど、タイマー機能のある外部機器が選択できます。（表示名称を正しく設定する必要があります。）
タイマーRec（録音）はFM、AM、またはLINE、DIGITAL（FR-B8のみ）に接続したタイマー機能のある外部機器から選択して録音できます。

曜日の設定

タイマーは1回だけ働く「Onceタイマー」と毎週設定した曜日、時間に働く「Everyタイマー」があります。

また、Everyタイマーには「Everyday（毎日）」、「毎週月曜から金曜」や「毎週の土曜と日曜」など、連続した曜日を自由に設定することができます。

例）

Timer 1	毎朝の目覚ましがわりに タイマーPlay(再生)—Every—Everyday(毎日)—7:00〜7:30
Timer 2	毎週のラジオ放送を録音 タイマーRec(録音)—Every—MON(月曜日)〜SAT(土曜日)—15:10〜15:30
Timer 3	今週の日曜だけラジオ放送を録音 タイマーRec(録音)—Once—SUN(日曜日)—10:00〜12:00

ご注意

- タイマー再生中や録音中に、現在時刻や終了時刻などの設定を変更することはできません。
- 現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。必ず時刻を合わせてください。
- 本機に接続した機器のタイマーを予約するときは接続を確実に行ってください。接続が不完全ですとタイマー再生やタイマー録音はできません。
- タイマーRec（録音）中は、MUTING機能が働いて音声がごく小さくなります。タイマーRec中に音声を聞くには、リモコンのMUTINGボタンを押してください。

タイマー表示について

タイマーが1つでも設定されていると、TIMER表示が点灯します。数字が点灯していたら、設定されている状態です。□が点灯している数字はタイマーRecが設定されています。

同じ曜日にタイマー予約の時間が重なった場合

- 開始時刻が早いタイマーが優先されます。
- 開始時刻が同じ場合はタイマー番号が早い方が優先されます。

Timer 1　　9：00 － 10：00
Timer 2　　8：00 － 10：00
　　↑ 優先(タイマー開始時刻が早い方)
Timer 3　　12：00 － 13：00
　　↑ 優先（タイマー番号が早い方）
Timer 4　　12：00 － 12：30

Sleepタイマーについて

設定した時間がくると自動的にスタンバイ状態になります。

タイマー機能を使う

Sleepタイマーを使う

SLEEPボタンを押す

「Sleep 90」が表示され、90分後に電源が切れる設定になります。
ボタンを押すごとに10分単位で時間が短くなります。

一分単位で時間を設定したいときは、⏮/⏭/ボタンを押します。
スリープ時間を設定したら、ENTERボタンを押します。

残り時間を確認するには

SLEEPボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。ただし、残り時間が10分以下の表示のときに再びSLEEPボタンを押すとSLEEPタイマーは解除されます。

Sleepタイマーを解除するには

「Sleep Off」の表示が出るまでSLEEPボタンを（くり返し）押します。

！ヒント

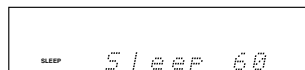
「CDダビング」中にスリープタイマーの設定時間になった場合、「CDダビング」が完了してからスタンバイ状態になります。
この機能を利用して、寝る前や外出前にCDダビングを始めることができます。

本体で操作する

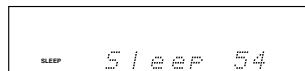
10分単位と1分単位の時間設定が可能です。

1 TIMERボタンを1秒以上押す

「Sleep 90」が表示され、90分後に電源が切れる設定になります。

2 TIMERボタンを押す

押すごとに、10分ずつ時間が短くなります。
90→80→....→10→off

3 1分単位で時間を設定したいときは、MULTI JOGダイヤルを回す

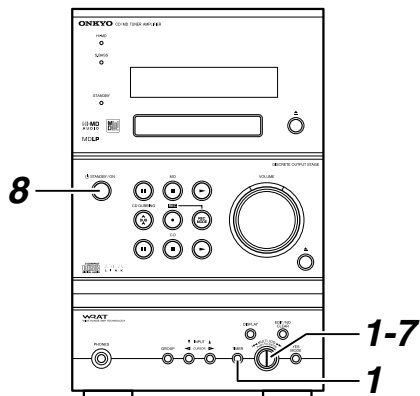
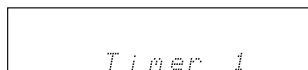
SLEEP Sleep 54

右に回すと1分ずつ増え、99分まで設定できます。左に回すと1分ずつ減り、1分まで設定できます。
スリープ時間を設定したら、MULTI JOGダイヤルを押します。

タイマーを予約する

FM、AMのタイマー予約をするには、あらかじめ放送局を登録しておいてください。（☞29〜31ページ）

ご注意

現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。
設定中60秒間何も操作しないと通常の表示に戻ります。

1

＜タイマー番号の選択＞

Timer 1

TIMERボタンを（くり返し）押して、設定するタイマーの番号を選ぶ

Timer 1からTimer 4のいずれかを選び、MULTI JOGダイヤルを押します。

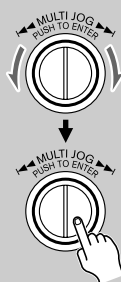
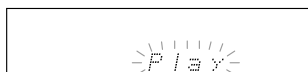
「Clock」しか表示されない場合は、曜日と時刻が設定されていませんので、曜日と時刻を設定してください。（☞66ページ）

2

＜タイマー種類の選択＞

Play

または

Rec

MULTI JOGダイヤルを回して、タイマーPlay（再生）またはタイマーRec（録音）を選ぶ

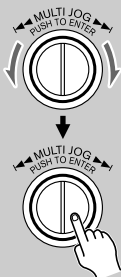
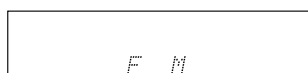
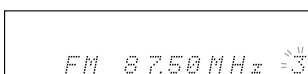
タイマーの種類が表示されたらMULTI JOGダイヤルを押します。
タイマーRecは本機MDまたは本機に接続しているテープデッキに録音されます。録音中は、MUTING機能が働きます。

3

＜再生機器の選択＞

F M

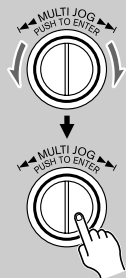
FMまたはAMを選んだ場合

FM 87.50MHz 3

MULTI JOGダイヤルを回して、再生する機器を選ぶ

再生する機器が表示されたらMULTI JOGダイヤルを押します。
タイマーRec(録音)の時はFM、AM、LINE、DIGITAL(FR-B8のみ)の中から選べます。

MULTI JOGダイヤルを回して、登録したチャンネルを選ぶ

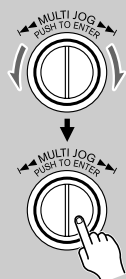
登録したチャンネルが表示されたらMULTI JOGダイヤルを押します。

4

＜録音機器の選択＞（タイマーRec設定時のみ）

FM → MD

MULTI JOGダイヤルを回して、録音する機器を選ぶ

録音する機器が表示されたらMULTI JOGダイヤルを押します。

5

＜曜日の設定＞

Every

MULTI JOGダイヤルを回して、“Once”または“Every”を選ぶ

“Once”を選ぶと1度だけ、“Every”を選ぶと毎週タイマーが働きます。
選んだらMULTI JOGダイヤルを押します。

“Once”の場合：設定した曜日に１度だけ働きます。

SUN

MULTI JOGダイヤルを回して、曜日を選ぶ

曜日を表示させたらMULTI JOGダイヤルを押します。
曜日の表示は下記の通りです。

MON	（月曜日）	FRI	（金曜日）
TUE	（火曜日）	SAT	（土曜日）
WED	（水曜日）	SUN	（日曜日）
THU	（木曜日）		

“Every”の場合：設定した曜日に毎週働きます。

MULTI JOGダイヤルを回して、曜日を選ぶ

曜日を表示させたらMULTI JOGダイヤルを押します。

MON（月） ⇔ TUE（火） ⇔ WED（水） ⇔ THU（木） ⇔ FRI（金）
⇕ FRI（金） ⇕ SAT（土）
SUN（日） ⇔ Days Set ⇔ Everyday ⇔ SAT（土）
⇕ MON（月） ⇕ SUN（日）

Days Set：［曜日の範囲をお好みで設定します。］

「Days Set」を選んだ場合：連続した曜日の範囲をお好みで設定します。

MON－SAT

TUE

TUE－SUN

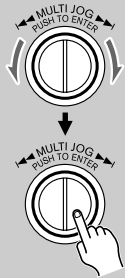
① MULTI JOGダイヤルを回して、最初の曜日を選ぶ

曜日を表示させたらMULTI JOGダイヤルを押します。

② MULTI JOGダイヤルを回して、最後の曜日を選ぶ

曜日を表示させたらMULTI JOGダイヤルを押します。

この場合、毎週火曜から日曜の設定した時間にタイマーが働きます。
設定できるのは連続した曜日です。月曜日と水曜日など、連続していない曜日を設定することはできません。

6

<開始時刻の設定>

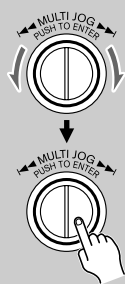
On　7：29

MULTI JOGダイヤルを回して、タイマー開始時刻を設定する

時刻を表示させたらMULTI JOGダイヤルを押します。
リモコンの数字ボタンでも設定できます。
7：29を設定するには、7、2、9と押します。
- am/pm表示のときは、＞10ボタンでamとpmで切り換わります。

！ヒント

- 開始時刻（On）を設定すると終了時刻（Off）は自動的に1時間後の表示になります。
- 本機MDにタイマー録音するとき、開始後数秒間は録音されない場合がありますので録音開始時刻を1分程早めに設定してください。

7

<終了時刻の設定>

Off　8：29

MULTI JOGダイヤルを回して、タイマー終了時刻を設定する

時刻を表示させたらMULTI JOGダイヤルを押します。

8

STANDBY/ON

<スタンバイにする>

電源をスタンバイ状態にする

STANDBY/ONボタンを押して電源をスタンバイ状態にします。

ご注意

- MDやCDのタイマー再生で、メモリー、ランダム、1 GRモードなどを設定しても、タイマーオン時には通常再生になります。
- 電源がスタンバイ状態以外の時には、タイマーの予約時刻になってもタイマー動作しません。タイマー動作させる時には、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。
- タイマー動作中にスリープタイマーの設定をしたり、TIMERボタンを押すと動作中のタイマーは解除されます。
- タイマーPlayの音量はスタンバイ状態にする直前の音量と同じになります。あらかじめ音量を調整しておいてください。
- タイマーRec（録音）中はMUTING機能が働いて音声がごく小さくなります。音声を聞くには、リモコンのMUTINGボタンを押してください。

！ヒント

リモコンのTIMERボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

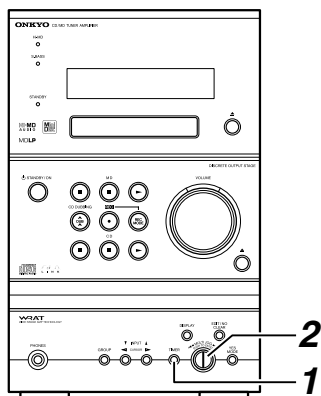
タイマー予約をやり直したいときは…

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、最初から設定してください。

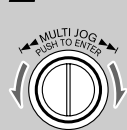
タイマー機能を使う

タイマーのOn（実行）/Off（取消）を切り換える

- 予約したタイマーの実行を取り消したいとき、タイマーを再び実行させたいときに使います。
- 現在時刻が設定されていないとタイマー予約はできません。

1

TIMERボタンを（くり返し）押して、設定するタイマー番号を表示させる

タイマー番号が点灯していたら、オン(実行）で設定されている状態です。

2

MULTI JOGダイヤルを回して、On(実行)/Off(取消)を切り換える

または

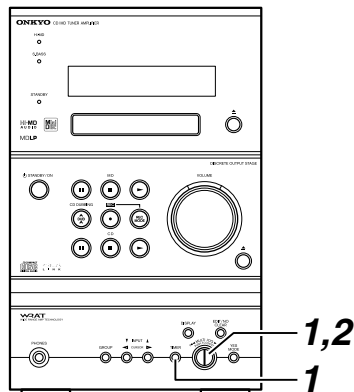
Timer Off

切り換えると約2秒後にもとの表示に戻ります。

！ヒント

リモコンのTIMERボタン、|◀◀/▶▶|ボタンでも操作することができます。

タイマー設定の内容を確認するには

1

TIMERボタンを(くり返し)押して、確認したいタイマーの番号を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押す

2

MULTI JOGダイヤルを（くり返し)押して、次の内容を確認する

押すたびに次の設定内容が確認できます。

！ヒント

確認中MULTI JOGダイヤルを回して設定内容を変更することもできます。

TIMER設定がOffになっている場合、設定内容を変更すると自動的にタイマー設定がOnになります。

すべての項目を確認し、設定に変更がないともとの表示に戻ります。

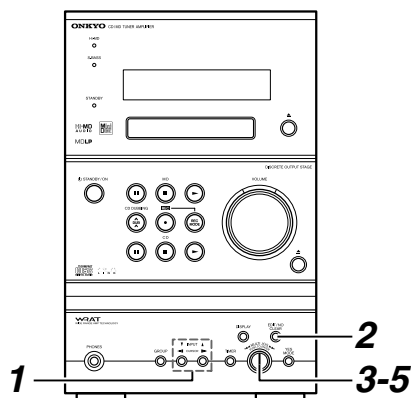
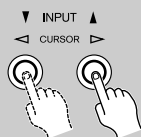
通常の表示にするにはEDIT/NO/CLEARボタンを押します。

！ヒント

リモコンのTIMERボタン、ENTERボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、EDIT/NO/CLEARボタンでも操作することができます。

接続した機器の表示名称を変える

RI端子付きオンキヨー製品を接続した場合、ダイレクトチェンジなどのシステム動作を正しく行うために入力表示を切り換える必要があります。また、接続した外部機器に合わせて、入力の表示名称を変えることができます。

1

INPUT▲/▼ボタンを（くり返し）押して、名称を変える外部入力を選ぶ

CD-R（FR-B7の場合はVIDEO)、TAPE、LINE、DIGITAL（FR-B8のみ）から選べます。

2

EDIT/NO/CLEARボタンを押して、「Name Select?」を表示する

```
Name Select?
```

3

MULTI JOGダイヤルを押す

4

MULTI JOGダイヤルを回して名称を選ぶ

（FR-B8の場合）

CD-R ⇔ VIDEO ⇔ DAT ⇔ HDD
⇕ ※2　　　　　　　　⇕
PC-RI ⟺ PC

TAPE ⟸ VIDEO
⇑　　　　　⇕
└──────⟹ DAT

LINE ⟺ DVD ⟺ BS/CS
⇕　　　　　　　⇕
GAME ⟺ TV

DIGITAL ⟺ CD-R:dig ⟺ BS/CS:dig
⇕ ※2　　　　※1　　　　⇕
PC-RI:dig ⟺ PC:dig ⟺ GAME:dig

（FR-B7の場合）

VIDEO ⟺ DAT ⟺ HDD
⇕　　　　　　　⇕ ※1
CD-R ⟺ PC-RI（※2） ⟺ PC

TAPE ⟸ VIDEO
⇑　　　　　⇕
└──────⟹ DAT

LINE ⟺ DVD ⟺ BS/CS
⇕　　　　　　　⇕
GAME ⟺ TV

変更をやめるときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

※1 UE-205以外のUSBオーディオプロセッサーなどを接続したとき選択します。

※2 オンキヨー製USBオーディオプロセッサーUE-205を接続したとき選択します。

5

MULTI JOGダイヤルを押して決定する

「Complete」が表示された後、通常表示に戻ります。

省略名称表示

本機では入力の表示名称が省略される場合があります。そのような場合は、下の表で確認してください。

名称	省略名称
BS/CS	BS
CD-R	CR
DIGITAL、＊＊：dig	DG
DVD	DV
LINE	LI
PC	PC
PC-RI	PC
TAPE	TA
TV	TV
VIDEO	VI
HD（ハードディスク）	HDD
GAME	GM

取り扱いについて

お手入れについて

製品の表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。
スピーカーのお手入れは市販されているピアノクリーナー（鏡面ツヤ出し用）をご使用ください。塗面に付いた手アカや汚れをすっきり取り、美しい光沢に仕上げます。お手入れ後はホコリや手アカが付きにくくなり、付着しても乾拭きで楽に取れます。
スピーカーのサランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るか ブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

カラーテレビやパソコンとの近接使用について

一般にカラーテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
付属のスピーカーは（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合はスピーカーをテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。

付属のスピーカーのツィーターには強力な磁石を採用していますので、ドライバーや鉄等の磁性体を近づけないでください。吸い付けられてけがをしたり、振動板が破損する原因となります。

取り扱い上のご注意

付属のスピーカーは通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。
①FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発信器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ アンプが発振しているとき
⑦ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。

メモリー保持について

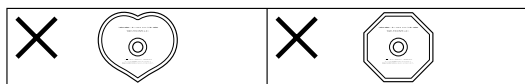
FR-B8またはFR-B7には、メモリー保持用の予備電源装置が内蔵されています。これは、お客様が設定した内容などを停電時などに保護するためのものです。FR-B8またはFR-B7の電源コードを抜いた状態で、メモリーを保持できるのは約3日間です。
ただし、時刻は保護されずタイマーはOFF設定になりますので、再度設定してください。

CDについて

再生上のご注意

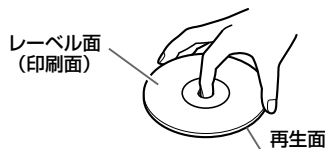
CD（コンパクトディスク）はディスクレーベル面に下記のマークの入ったものをご使用ください。
パソコン用のCD-ROMなど音楽用でないディスクは使用しないでください。異音の発生などでスピーカーやアンプの故障の原因となります。

※本機は音楽用CDで利用するPCMフォーマットで録音されたCD-R、CD-RWに対応しています。
ディスクの特性、傷、汚れ、録音状態によっては再生できないことがあります。また、オーディオ用CDレコーダーで録音した場合、ファイナライズしていないディスクは再生できません。

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの再生について

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの中には正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

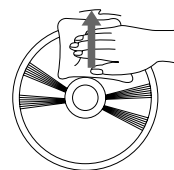
取り扱いについて

再生面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんプリント面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またきずなどをつけないようにしてください。

レンタルCDの注意について

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものはお使いにならないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

CDのお手入れについて

汚れにより信号読み取りが低減し、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

MDについて

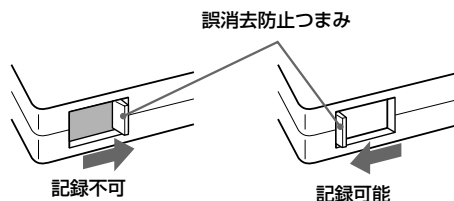
シリアルコピーマネージメントシステム
デジタル入力で録音したMDをさらにデジタル入力録音することはできません。本機はシリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。この規格は、各種デジタルAV機器の間で、デジタル信号どうしのコピーを「1回だけ」と規制したもので、3つの原則があります。

原則1
CDまたはDAT、MDからMDへ「デジタル入力録音」できます。ただし、1度「デジタル入力録音」したものを他のMDへ「デジタル信号のままデジタル入力録音」できません。

原則2
アナログレコードやFM放送などをアナログ入力録音したMDから、他のMDへ「デジタル入力録音」できます。ただし、1度「デジタル入力録音」したMDから、他のMDへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できません。MDレコーダーどうしをアナログ入出力端子につないだときは、何回でも録音できます。

原則3
DATデッキまたは32kHz、48kHzのサンプリング周波数に対応するMDレコーダーの場合、衛星放送のデジタル音声信号も「デジタル入力録音」できます。
この場合は、2回目も「デジタル入力録音」できます。ただし、BSチューナー（衛星放送受信機）によっては、2回目のデジタル入力録音ができない場合があります。

MDの誤消去防止について

録音用のMDには録音した内容を誤って消さないための誤消去防止つまみがあります。録音を禁止するときは、MDの誤消去防止つまみをずらして、図のように孔が開いた状態にします（記録不可状態）。

MDに録音するときや名前をつけるなどの編集を行うときは、録音用のMDを使用し、記録不可状態を解除しておいてください。

MDの取り扱いについて

MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えます。しかし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

内部のディスクに直接触れないでください

ディスクのシャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。

置き場所について

直射日光が当たる所など高温の場所や湿度の高い場所、ほこりの多いところ、風通しの悪いところ、大型のエアコンやチカチカする古い蛍光灯など大きな電源ノイズを発生する機器のそばには置かないでください。

長時間使用しないときは

MDが本機の中に入っているときは、ディスクのシャッターが開いた状態になっています。長時間使用しないときは、内部のディスクにほこりがつくのを防ぐため、MDを本機から取り出しておいてください。

定期的にお手入れを

カートリッジ表面についたほこりやごみを乾いた布でふき取ってください。

お知らせ

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
お問い合わせ先：
（社）私的録音補償金管理協会
Tel. 03-5353-0336
Fax. 03-5353-0337

MDのシステム上の制約について

MDは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- **最大録音可能時間に達していなくても、「Disc Full」が表示される。**

MDは、時間に関係なく、曲数がいっぱいになると「Disc Full」の表示が出ます。Hi-MDモードの場合で2048曲、MDモードの場合で255曲以上は録音できません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消すか、2枚のMDに分けて録音してください。

- **曲数にも録音時間にも余裕があるのに、「Disc Full」が表示される。**
  曲中にエンファシス情報などの入切が多く行われると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく「Disc Full」の表示が出ます。

- **MDへの録音状況によっては、短い曲を何曲消してもMDの残り時間が増えない。**

- **録音方法により曲をつなぐことができない場合がある。**
  編集を行ってできた曲は、つなぐことができない場合があります。

- **MDの状態や録音のしかたによっては、録音可能な残り時間が録音した時間以上に減ることがある。**

- **編集でできた曲で早戻し、早送りを行うと、音が途切れることがある。**

- **曲番が正確につかないことがある。**
  CDを録音するとき、CDの録音内容によって、短い曲ができる場合があります。また、レベルシンクオンで自動的にトラックマーキングを行った場合、録音するものの内容によっては、曲番が正確につかない場合があります。

- **「MD Reading」の表示がなかなか消えない。**
  一度も使用していない録音用ディスクを入れると、通常より「MD Reading」が長く表示されます。

- **MDにはHi-MDモードの場合で約55,000文字、MDモードの場合で約1,700文字のネームが入力できます。**
  ただし、グループ機能を使用したり、カタカナを入力すると入力可能文字数はこれより少なくなります。

- **グループ機能の情報は、通常ネームを書きこむエリアに書きこみます。**
  そのため、文字を多く入れると情報を書きこむエリアが少なくなり、グループ編集ができない場合があります。その際は、ネームの文字数を減らすとグループ編集ができることがあります。

MDLP、Hi-MDについて
LP2、LP4の各モードで録音したディスクは、LP2、LP4モード搭載の機器以外では再生できません。
PCM、Hi-SP、Hi-LPで録音したディスクは、Hi-MD対応の機器以外では再生できません。

録音時間

動作モード	録音モード	コーデック/ビットレート	ディスクの種類			
			Hi-MD規格専用 1GB	80分	74分	60分
Hi-MDモード	Hi-PCM	リニアPCM/1.4Mbps	約1時間34分	約28分	約26分	約21分
	Hi-SP	ATRAC3plus/256kbps	約7時間55分	約2時間20分	約2時間10分	約1時間45分
	Hi-LP	ATRAC3plus/64kbps	約34時間	約10時間10分	約9時間25分	約7時間40分
MDモード	SP	ATRAC/292kbps	MDモードでは録音できません。	約80分	約74分	約60分
	LP2	ATRAC3/132kbps		約2時間40分	約2時間28分	約2時間
	LP4	ATRAC3/66kbps		約5時間20分	約4時間56分	約4時間
	MONO			約2時間40分	約2時間28分	約2時間

ディスクに入るトラック数/グループ数/入力文字数

動作モード	ディスクの種類	最大トラック数	最大グループ数	最大入力文字数
Hi-MDモード	Hi-MD規格専用 1GB	2047	255	約55,000文字
	80分	2047	255	約55,000文字
MDモード	80分	254	99	約1,700文字

困ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もあります。他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

電源に関して

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、10秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

電源が途中できれる

- 表示部にSLEEP表示がある場合は、スリープタイマーが働きます。解除してください。**(68ページ)**
- タイマー再生、録音は終了時刻にスタンバイになります。**(69、72ページ)**
- STANDBYインジケーターが点滅しているときは、保護回路が働いています。スピーカーコードのしん線部の＋、－が接触していないか確認してください。

音に関して

音声が出ない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
- スピーカーが正しく接続されていますか？しん線は本体の接続端子に接触していますか？**(15ページ)**
- ボリュームが最小になっていませんか?
- INPUTは正しく選択されているか確認してください。
- “MUTING”と表示されている場合、ミューティング機能が働いていますので、解除してください。**(34ページ)**
- ヘッドホンを接続しているとスピーカーからの音は出ません。ヘッドホンをはずしてください。**(21ページ)**

音が良くない/雑音が入る

- スピーカーコードの+/−が正しく接続されているかご確認ください。左側に置くスピーカーが本体のL端子、右側のスピーカーはR端子に接続してください。**(15ページ)**
- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。
- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響をうけることがあります。テレビと本機を離してください。
- 携帯電話の通話中など本機の近くに強い電波を発生させる機器があると、ノイズが発生する場合があります。
- 本機は回転機器ですので、静かな環境では再生中や選曲中に精密部品がディスクを読み取る音が聞こえる場合があります。

振動で音が途切れる

- 本機は設置タイプで設計されておりますので、できるだけ振動の少ない設置場所でご使用ください。

ヘッドホンから音が出ない/ノイズが出る

- 接触不良の場合があります。ヘッドホンの端子を清掃してください。（清掃方法については、ヘッドホンに付属の取扱説明書をご確認ください。）また、ヘッドホンケーブルの断線の可能性もありますので、ご確認ください。

音質に関して

- 電源プラグの極性を変えると音が良くなることがあります。電源投入後10〜30分程度経過した方が音質は安定します。オーディオ用ピンコードはスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

CD/MDに関して

再生が始まるまでに時間がかかる

- 曲数の多いディスクの場合、読み込みに時間がかかることがあります。

音が飛ぶ

- 本機に振動が加わっている、またはディスクに大きな傷があったり汚れていると音とびすることがあります。

曲をメモリーすることができない

- ディスクが本機に入っていること、メモリーしようとしているのはディスクに入っている曲であることを確認してください。

ディスクが入らない

- 一度電源プラグを抜いて、もう一度入れてください。
- CDの場合はディスクの置く位置、MDの場合はディスクの方向を確認してください。
- 異なるディスクを使用してみてください。

ディスクが入っているのに再生しない

- ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください。
- ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。
- 何も録音されていないディスクが入っていませんか、録音されているディスクと取り換えてください。
- 結露していると思われる場合は約1時間後に操作してください。**(74ページ)**

ディスクの再生順序通りに再生できない

- リピート再生、メモリー再生、ランダム再生等の再生モードを解除してください。**(28ページ)**

複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽用CDの再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする/ディスクを認識せず「NO DISC」の表示が出る/1曲目を再生しない/頭出しに通常よりも時間がかかる/曲の途中から再生する/再生できない箇所がある/再生の途中で停止する/誤表示する

- 再生しているディスクは複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDです。コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で再生できない場合があります。

ＦＭ/ＡＭ放送に関して

放送に雑音が入る/FMステレオ放送の時、サーというノイズが多い/オートプリセットで放送局が呼び出せない(FMのみ)/FM放送で“ST”表示が完全に点灯しない

- アンテナの接続をもう一度確認してください。**(16ページ)**
- アンテナの位置を変えてみてください。**(32ページ)**
- テレビやコンピューターから離してください。
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
- 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると放送が受信しにくくなります。
- FMモードをモノラルに変更してみてください。**(33ページ)**
- AM受信時リモコンを操作すると雑音が入る場合があります。
- それでも電波が悪い時は市販の室内アンテナまたは、屋外アンテナの設置をお薦めします。屋外アンテナの設置については、販売店にご相談ください。

停電になったり、電源プラグを抜いたときは

- メモリーは通常3日間は保持されます。万一、登録したラジオの放送局が消えてしまった場合は、再度登録を行ってください。
- 現在時刻は解除されるので、現在時刻、タイマーを設定してください。

ラジオの周波数を調整できない

- リモコンのみの操作になります。リモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して調整してください。
（32ページ）

リモコンに関して

リモコンが働かない

- 電池の極性（+、−）が、表示通り正しく入っているか確認してください。（8ページ）
- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。（種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用はさけてください）
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？
- リモコンと本体の間に障害物がありませんか？
- 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、正常に機能しないことがあります。
- 部屋の蛍光灯が消耗してちらついていると本機が誤動作することがあります。蛍光灯を確認してください。

外部機器との接続に関して

録音ができない

- FR-B8の場合、デジタル録音するには再生機器のデジタル出力を本機のDIGITAL IN端子に接続する必要があります。接続が正しいか確認してください。
（19ページ）

オンキヨー製外部機器とのシステム動作が働かない

- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。
（17〜20ページ）
RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。
- 外部入力機器の表示名称を設定してください。
（73ページ）

「D.In Unlock」が表示された/DIGITAL表示が点滅している

- 光デジタルケーブルの接続がされていないか、外部機器の電源が入っていません。

接続した機器の音が出ない

- 光デジタルケーブルが折れ曲がったり損傷していませんか?
- 本機はPCM信号にしか対応していないのでデジタル出力をPCMに設定してください。

レコードプレーヤーの音が小さい

- レコードプレーヤーがフォノイコライザー内蔵か、お確かめください。
- 内蔵していないレコードプレーヤーの場合は別途フォノイコライザーが必要です。

レコードプレーヤーが再生できない

- MCカートリッジタイプのレコードプレーヤーをお使いの場合は、昇圧トランスまたはヘッドアンプが必要です。

時刻、タイマー再生・録音に関して

タイマー再生・録音しない

- 現在時刻は正しく設定されていますか？
時刻が設定されていないと、タイマー再生、録音はできません。曜日と現在時刻を設定してください。
（66ページ）
- 開始時刻に電源が入っているとタイマーが開始しません。タイマー開始時はスタンバイ状態にしてください。
（71ページ）
- タイマー予約の時間が重なっているとはたらかないタイマーがあります。時間をずらして設定してください。
（67ページ）
- タイマー再生はスタンバイ状態にした時の音量が反映されます。スタンバイにする前に適切な音量に調節しておいてください。（71ページ）
- オンキヨー製外部機器の場合はRIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。また、表示名称が正しく設定されているか確認してください。（73ページ）
- タイマー録音するには録音可能なMDをセットしておく必要があります。また、本機MDにタイマー録音するとき、開始後数秒間は録音されない場合がありますので、録音開始時刻を1分程早めに設定してください。

スタンバイ状態で時計表示が出ない

- スタンバイ時の時刻表時を「あり」に設定してください。（66ページ）

MDの録音/編集に関して

MDの録音、編集（名前をつける、消去する、等）の情報はMDを取り出す時やスタンバイ状態になるときに、MDの目次部分（TOC）に書きこまれます。TOC表示が点灯、点滅している時は電源プラグを抜いたり本体を揺らしたりしないでください。

録音ができない

「Cannot Rec」と表示される
- 再生用のMDです。録音用と交換してください。
- DVDの音源をデジタル信号のまま録音することはできません。

「Protected」と表示される
- MDが記録不可状態になっています、誤消去防止つまみをずらして解除してください。

「Disc Full」と表示される
- MDに録音の空きがありません、新しいMDと交換してください。

「Retry Error」と表示された
- いったんMDを取り出して、再度録音しなおしてください。頻繁に表示される場合は、修理窓口にご連絡ください。
- ディスクの残り時間が48秒以下の場合、録音ができない場合があります。

デジタル機器から外部録音しようとしたら「D.In Unlock」と表示される

- オーディオ用デジタルケーブルを正しく接続してください。

録音レベルが小さい/音が歪む

- 録音レベルを調整してください。（46ページ）

「CDダビング」ができない（デジタル録音されたCD-Rは、CDダビングなどのデジタル録音はできません。）

- 「Peak Search（ピーク サーチ）」と点滅している場合は、音量を自動補正するDLAリンク機能が働いています。点滅後、ダビングを開始しますのでお待ちください。また、DLAリンク機能を「オフ」にすることもできます。（45ページ）

「CD Dub Fail」と表示される。
- MD部が動作中です。しばらく待ってからもう一度CDダビングを行ってください。
- CDがランダム再生モードになっているとCDダビングできません。通常再生に戻してください。

「CD倍速ダビング」ができない。
- CDがメモリー、ランダム再生モードになっているとCD倍速ダビングは働きません。通常の再生モードに戻してください。
  また、MDモードの場合、倍速ダビング開始後、同じCDを74分以内に倍速ダビングすることはできません。**（39ページ）**

「CD倍速ダビング」で音とびがする
- CD倍速ダビングはディスクの汚れ等の影響を受けやすくなります。
  音とび、ノイズ等が発生する場合は、通常のCDダビングで録音してください。

「シンクロ録音」ができない
- 表示部に「MD Reading」が表示されている間はシンクロ録音を開始することができません。しばらく待ってから操作してください。

録音すると必ずグループができる
- グループ録音の設定が「オン」になっています。「グループ録音」の設定を「オフ」にしてください。**（44ページ）**

録音した曲の始めの数秒が途切れる
- 入力を「MD」にしたとき、「Reading（リーディング）」と表示されている場合は、MDの読み込みを行っています。MDの読み込みには数十秒かかります。MDの読み込みが完了してから、録音を開始してください。

録音時、瞬間的にノイズが発生する
- MDモードのLP4モード録音では、圧縮方式の特性上、録音元の音源によってごくまれに瞬間的なノイズが発生します。SPモードまたはLP2モードでの録音をお試しください。

ディスクに記載の録音時間と既に録音時間・残録音時間が一致しない
- ディスクの録音箇所には一定の範囲（時間）単位での録音がされるために、くり返しの編集や削除などにより、録音時間が減少する場合があります。

MDの読み込み（MD Reading（リーディング））が遅い
- 本機はHi-MD、MD対応のため、読み込みに最大で60秒程度かかります。

録音したディスクを再生すると音が小さい/大きい
- 録音レベルを調整してください。**（46ページ）**

名前がつけられない
- 録音用のMDを使用してください。MDの誤消去防止つまみが開いて録音不可状態になっている場合は、誤消去防止つまみを閉じて解除してください。**（76ページ）**
- メモリー、ランダム、1GR再生モードになっていると名前はつけられません。通常の再生モードに戻してください。**（28ページ）**

すでに何曲か録音してあるMDなのに録音を開始すると1Trからになる
- グループ録音設定がオンになっていると、録音開始時に新しいグループを作成して録音するため、1Trと表示されます。

グループ録音設定をオンにしているのにグループにならない
- トラック指定CDダビングのときはグループになりません。また、シンクロ録音のときは、MDの■（ストップ）ボタンを押すとそこでグループが終わります。

たくさんの曲数に分割して録音されてしまう
- ラジオ、レコード等から録音する場合、無音部分を検出して曲数がたくさん付く場合があります。録音レベルを上げても改善しない場合はレベルシンク機能をOFFにしてください。

曲番が付かない
- 無音部分が短いと曲番がつかない場合があります。

本機で録音したMDが本機以外のプレーヤーで再生できない
- LP2やLP4（MDLPモード）を使って録音したMDはMDLP対応機器でないと再生できません。お持ちの機器がMDLP対応か確認してください。
  初期化するときにHi-MDフォーマットをしたMDはHi-MD対応機器でないと再生できません。お持ちの機器がHi-MD対応か確認してください。

今お持ちのMDをHi-MDモードにしたい
- Hi-MDモードに初期化します。既に録音されている曲はすべて削除されます。**（36ページ）**

MDの編集ができない
- MDは録音用を使用し、録音不可状態は誤消去防止つまみをずらして解除してください。**（76ページ）**
- メモリー、ランダム、1GR再生モードになっていると編集できません。通常の再生モードに戻してください。**（28ページ）**
- デジタル録音した曲とアナログ録音した曲はCombine（つなぐ）ことはできません。**（55、59ページ）**
- また、異なる録音モードで録音した曲はCombine（つなぐ）ことはできません。（ LP2とLP4など）**（59ページ）**

録音後、停電になった

TOC表示が点灯、点滅中に停電になった場合は、停電前の記録内容は消去されます。また誤って電源コードを抜いた場合も消去されます。

その他

- テレビの音声出力とDVDプレーヤーの音声出力の両方を本機に接続している場合は､テレビ画面に影響を与えることがあります。その場合は､どちらかを外してください。

ディスクが熱くなる
- 外気温や動作状態にもよりますが、本機によってディスクが熱くなることがありますが、故障ではありません。

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりませんので大事な録音するときにはあらかじめ正しく録音できる事を確認の上、録音を行なってください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。
そのような時は、電源プラグを抜いて約5秒以上待ってから改めて電源プラグを入れてください。

メッセージ一覧

ご使用の状況により、メッセージが表示されます。
意味は下の表のとおりです。

メッセージ	意味
MD Blank Disc	曲もディスク名も記録されていない録音用MDが入っている。
Audio Error	パソコン用音声信号が入っているディスク。他のディスクを使用するか、フォーマットしてください。
Cannot Copy	MDの制限により、デジタル録音できない状態になっている(「シリアルコピーマネージメントシステムについて」、76ページ参照)。
Cannot Edit	編集できないMDで編集しようとした。
Cannot Rec	再生専用MDに録音しようとした。 デジタルで録音したCD-Rをデジタル録音しようとした。
CD Dub Fail	CDダビングを起動できなかった。
Complete	編集が完了した。
Cannot Read	異常な(損傷している、TOCが入っていない)MDが入っている。または、Hi-MDオーディオとして対応していないフォーマットのため、読み込みできない。他のディスクを入れてください。
Disc Full	MDの録音可能部分がないため、録音できない(「MDのシステム上の制約について」、77ページ参照)。
D. In Unlock	デジタル入力に接続されていない。デジタル接続を確認してください。
Error	カナネーム入力時に入力できない組み合わせを行った。例：アﾞ
Full	ネーム入力中に文字数が最大値に達した。
Impossible	MDシステム制約上以外の原因で編集の不可能な操作をした。
MD Writing	MDへの書き込み中
Mecha Error	MDメカに異常が発生した。故障の可能性がありますので、お近くのオンキヨー修理窓口にお問い合わせください。
Memory Full	25曲を越えてメモリーしようとした。または、チューナーで30局を越えてメモリーしようとした。
Name Full	入っている曲名とディスク名が最大値に達した。
No Change	ネーム入力で変更がなかった。
CD/MD No Disc	ディスクが入っていない。（CD、MD）
Protected	MDが記録不可状態になっている。
Read Error	ディスクを正しく読めなかった。ディスクを入れ直してください。
Retry Error	録音中、振動やMDに傷がいくつもあったため、記録し直しが連続し正常に記録できない。 ディスクを交換してください。
Recording	録音中にできない操作をした。
Signal Wait	MDがシグナルウエイト状態になった。
Time Protect	CD倍速ダビング終了後、同じCDを74分以内にCD倍速ダビングしようとした。
TOC Error	TOC情報がおかしいため、MDの読み取りや書き込みに失敗した。他のディスクを入れてください。 それでも失敗する場合は、ディスクをフォーマットし直してください。

主な仕様

仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

本体部

■総合

電源・電圧 AC 100V、50/60Hz
消費電力 56W
待機時電力 0.2W
最大外形寸法 155(幅)×241(高さ)×354(奥行)mm
質量 5.1kg
音声入力
　デジタル FR-B8のみ　1（光）
　アナログ FR-B7：LINE、TAPE、VIDEO
　　FR-B8：LINE、TAPE、CDR
音声出力
　デジタル FR-B8のみ　1（光）
　アナログ FR-B7：TAPE、VIDEO
　　FR-B8：TAPE、CDR
　サブウーファープリアウト　1
　スピーカー　2
　ヘッドホン　1

■アンプ部

定格出力 14W＋14W
(8Ω、40Hz〜20kHz、
全高調波歪率0.4 %以下、2ch駆動時）
19W＋19W
(4Ω、1kHz、全高調波歪率0.4%以下、
2ch駆動時）
実用最大出力 26W＋26W（4 Ω JEITA）
全高調波歪率 0.4 %（1kHz 定格出力時）
0.4 %（40Hz〜20kHz 定格出力時）
ダンピングファクター　25（8Ω）
入力感度/インピーダンス　150mV/50kΩ（LINE）
出力電圧/インピーダンス　150mV/2.2kΩ（REC OUT）
周波数特性　10Hz〜100kHz/±3dB（LINE）
トーンコントロール最大変化量
±10dB、100Hz（BASS）
±10dB、10kHz（TREBLE）
＋4.5dB、80Hz（S.BASS1）
＋7.5dB、80Hz（S.BASS2）
SN比　100dB（LINE,IHF-A）
スピーカー適応インピーダンス　4Ω〜16Ω

■チューナー部

＜FM＞
受信範囲　76MHz〜108MHz
受信感度　Stereo　17.2dBf 2.0μV（75Ω IHF）
　Mono　11.2dBf 1.0μV（75Ω IHF）
SN比　Stereo　65dB（IHF-A）
　Mono　67dB（IHF-A）
歪率　Stereo　0.5%（1kHz）
　Mono　0.4%（1kHz）
ステレオセパレーション　40dB（1kHz）
＜AM＞
受信範囲　522kHz〜1629kHz
実用感度(75Ω)　30μV
SN比　40dB
歪率　0.7%（1kHz）

■CD部

周波数特性　10Hz〜20kHz
ダイナミックレンジ　92dB
全高調波歪率　0.009%
ワウ・フラッター　測定値以下
(±0.001% W.PEAK）
音声出力電圧/インピーダンス
FR-B8のみ－22.5dBm（光デジタル出力）
1.3V/330Ω（アナログ出力）

■MD部

録音可能サンプリング周波数
FR-B7：44.1kHz（内部CDデジタルダビング時）
FR-B8：32, 44.1, 48kHz（外部デジタル入力時）
44.1kHz（内部CDデジタルダビング時）
再生サンプリング周波数　44.1kHz
録音・再生時間
最長34時間08分 1GB Hi-MDディスク使用･Hi-LPモード
周波数特性（デジタル音声）10Hz〜 20kHz
ダイナミックレンジ　94dB
出力電圧/インピーダンス　1.3V/330Ω（アナログ出力）

スピーカー部

■D-B8

形式　2ウェイバスレフ型
定格インピーダンス　4Ω
最大入力　70W
定格感度レベル　82dB/W/m
定格周波数範囲　50Hz〜35kHz
クロスオーバー周波数　6.5kHz
キャビネット内容積　6.0リットル
最大外形寸法　150(幅)× 241(高さ)×263(奥行)mm
(サランネット、ターミナル突起部含む）
質量　3.6kg
使用スピーカー
　ウーファー　13cm　A-OMFコーン型
　ツィーター　2.5cm　ソフトドーム型
ターミナル　プッシュ式スピーカーターミナル
防磁設計　有
付属品　コルクスペーサー8個、スピーカーコード1.8m×2

■D-B7

形式　2ウェイバスレフ型
定格インピーダンス　4Ω
最大入力　70W
定格感度レベル　82dB/W/m
定格周波数範囲　50Hz〜35kHz
クロスオーバー周波数　6.5kHz
キャビネット内容積　6.0リットル
最大外形寸法　150(幅)× 241(高さ)×262(奥行)mm
(サランネット、ターミナル突起部含む）
質量　3.6kg
使用スピーカー
　ウーファー　13cm　A-OMFコーン型
　ツィーター　2.5cm　ソフトドーム型
ターミナル　プッシュ式スピーカーターミナル
防磁設計　有
付属品　コルクスペーサー8個、スピーカーコード1.8m×2

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お 名 前
- ▶ お 電 話 番 号
- ▶ ご 住 所
- ▶ 製 品 名 X-B8 ま た は X-B7
- ▶ で き る だ け 詳 し い 故 障 状 況

■オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　　(　　)

メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

ONKYO HOMEPAGE
http://www.jp.onkyo.com/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：カスタマーセンター
ナビダイヤル ☎ 0570(01)8111（全国どこからでも市内通話料金で通話いただけます）
または ☎ 072(831)8111（携帯電話、PHSから）

G0504-2

SN 29344013A